

GO GLOBAL GATEWAY

東京大学国際総合力認定制度

2020 年度
オンラインウィンタープログラム
報告書

責任者：矢口 祐人
報告書作成者：下山田 翔

目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 目次..... | 1 |
| はじめに..... | 4 |
| プログラム全体の概要..... | 5 |
| オーストラリア国立大学-東京大学合同ウィンタープログラム | 7 |
| プログラム概要..... | 7 |
| 実施時期..... | 7 |
| 東大生参加人数と属性..... | 7 |
| 日程..... | 8 |
| 事後アンケート結果..... | 12 |
| プログラムの長さ..... | 12 |
| 学生と教員の比率..... | 12 |
| 講義の量..... | 13 |
| 講義内容の満足度..... | 13 |
| ディスカッション・グループワークの量..... | 14 |
| ディスカッション・グループワークの満足度..... | 14 |
| バーチャルツアーの満足度..... | 15 |
| 現地学生との交流満足度..... | 15 |
| このプログラムをどの程度友人に勧めたいか..... | 16 |
| 目的の達成度..... | 17 |
| プログラム全体の満足度..... | 17 |
| 今後短期プログラムに参加する学生へのメッセージやアドバイス..... | 17 |
| ソウル大学校-東京大学 合同ウィンタープログラム | 19 |
| プログラム概要..... | 19 |
| 実施時期..... | 19 |
| 東大生参加人数と属性..... | 19 |
| 日程..... | 20 |
| 事後アンケート結果..... | 21 |
| プログラムの長さ..... | 21 |
| 学生と教員の比率..... | 21 |
| 講義の量..... | 22 |

| | |
|--|----|
| 講義内容の満足度..... | 22 |
| ディスカッション・グループワークの量..... | 23 |
| ディスカッション・グループワークの満足度..... | 23 |
| 現地学生との交流満足度..... | 24 |
| このプログラムをどの程度友人に勧めたいか..... | 25 |
| 目的の達成度..... | 26 |
| プログラム全体の満足度..... | 26 |
| 今後短期プログラムに参加する学生へのメッセージやアドバイス..... | 27 |
| ハワイ大学マノア校ウィンタープログラム..... | 28 |
| プログラム概要..... | 28 |
| 実施時期..... | 28 |
| 東大生参加人数と属性..... | 28 |
| 日程..... | 29 |
| 事後アンケート結果..... | 30 |
| プログラムの長さ..... | 30 |
| 学生と教員の比率..... | 30 |
| 講義の量..... | 31 |
| 講義内容の満足度..... | 31 |
| ディスカッション・グループワークの量..... | 32 |
| ディスカッション・グループワークの満足度..... | 32 |
| バーチャルツアーの満足度..... | 33 |
| 現地学生との交流満足度..... | 33 |
| このプログラムをどの程度友人に勧めたいか..... | 34 |
| 目的の達成度..... | 35 |
| プログラム全体の満足度..... | 36 |
| 今後短期プログラムに参加する学生へのメッセージやアドバイス..... | 36 |
| デザイン思考で考える AI とジェンダー オンラインワークショップ..... | 38 |
| プログラム概要..... | 38 |
| 実施時期..... | 38 |
| 東大生参加人数と属性..... | 38 |
| 日程..... | 39 |
| 事後アンケート結果..... | 40 |

| | |
|---|----|
| プログラムの長さ..... | 40 |
| 学生と教員の比率..... | 41 |
| 講義の量..... | 41 |
| 講義の内容の満足度..... | 41 |
| ディスカッション・グループワークの量..... | 42 |
| ディスカッション・グループワークの満足度..... | 42 |
| このプログラムをどの程度友人に勧めたいか..... | 43 |
| 目的の達成度..... | 44 |
| プログラム全体の満足度..... | 44 |
| 今後短期プログラムに参加する学生へのメッセージやアドバイス..... | 45 |
| ベルリン自由大学 ウィンタープログラム..... | 48 |
| プログラム概要..... | 48 |
| 実施時期..... | 48 |
| 東大生参加人数と属性..... | 48 |
| 日程..... | 49 |
| 事後アンケート結果..... | 50 |
| プログラムの長さ..... | 50 |
| 学生と教員の比率..... | 51 |
| 講義の量..... | 51 |
| 講義内容の満足度..... | 51 |
| ディスカッション・グループワークの量..... | 52 |
| ディスカッション・グループワークの満足度..... | 52 |
| 現地学生との交流満足度..... | 53 |
| このプログラムをどの程度友人に勧めたいか..... | 54 |
| 目的の達成度..... | 55 |
| プログラム全体の満足度..... | 56 |
| 今後短期プログラムへの参加を考えている学生へのメッセージ・アドバイス..... | 57 |

はじめに

2017年度より開始された国際総合力認定制度(Go Global Gateway = GGG)は、東京大学の学部生の「国際総合力」を後押しするものである。グローバルキャンパス推進本部が主催し、学部生であれば誰もが登録可能である。学生は4年間を通して国際的な活動をして、その記録をポートフォリオにアップする。一定の活動をすれば「国際総合力認定証」が授与されるが、制度の主な目的は認定証の獲得そのものではなく、学生が継続的に国際的な活動に関わることである。

「国際的な活動」には当然ながらさまざまなものがある。GGGでは学生がキャンパスの内外で自由に探ることが奨励されているものの、グローバルキャンパス推進本部でも一定の活動を主催している。とりわけ入学してまもない前期課程学生を主な対象とした活動を設けることで、入学後早い段階で国際的な活動に触れる機会を提供している。

なかでも、これまではオーストラリア（キャンベラ）、アメリカ（ハワイ）、ドイツ（ベルリン）、韓国（ソウル）で夏・春休み中に研修を行ってきた。とくに現地の学生との交流を重視してきた。学生たちは主に英語を使って、同世代の世界の学生と学び、話し合うことで、国際総合力を少しずつ身につけてきた。

残念ながら2020年度は新型コロナウイルスの影響で現地での研修を全て中止せざるを得なくなった。とはいえ、それは学生の国際体験の機会がなくなったことを意味しない。グローバルキャンパス推進本部では、これまで交流のあった大学と協働し、オンラインでの国際的な学びの場を設けた。本報告書はこの新しい国際体験プログラムの結果をまとめたものである。

新型コロナウイルスの影響で、従来型の物理的な移動を伴う国際活動は滞ってしまったのは、学生にとっても、教職員にとっても極めて残念なことであった。とはいえ、その苦しみのなかから、これまではなかなか想像出来なかった新しい形の交流を作り上げることができたのは意義深い。そのためにあたたかく協力をしてくださった諸先生方、さらにプログラムの実現のために努力を惜しまなかった関係教職員に深く感謝したい。

矢口祐人

東京大学大学院情報学環教授

東京大学グローバルキャンパス推進本部副本部長/国際化教育支援室長

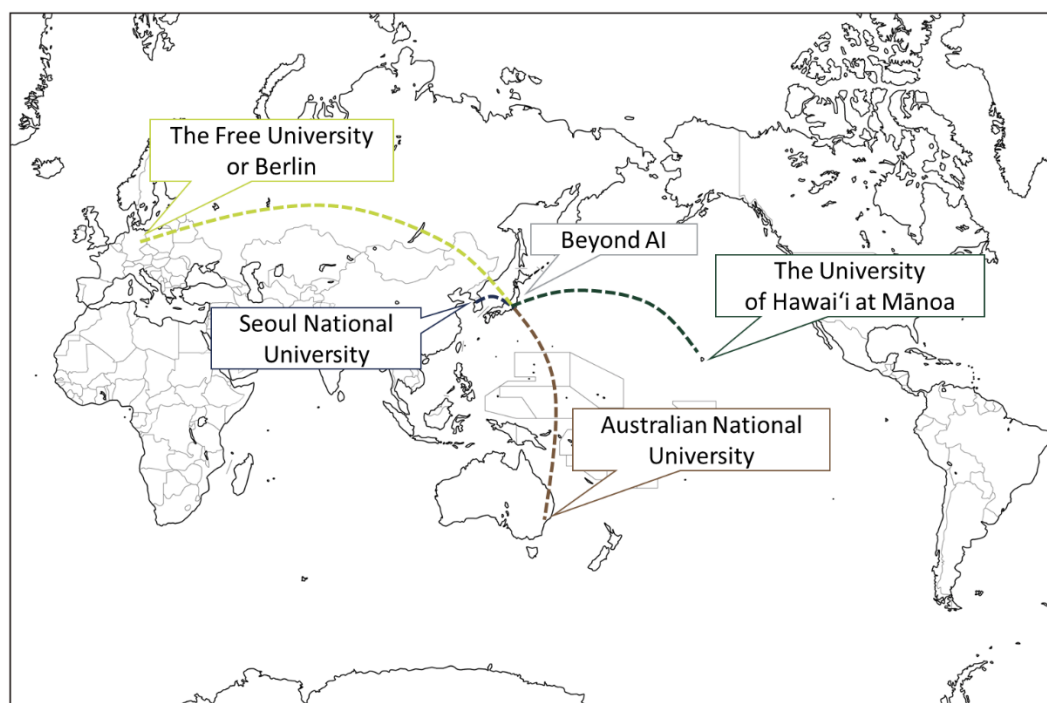
東京大学総長特任補佐（学部国際化教育担当）

プログラム全体の概要

新型コロナウイルスによる感染症「COVID-19」の世界的な拡大により、国際総合力認定制度が主催する2020年度のウィンタープログラムは、現地開催の中止を余儀なくされた。そこで、本制度では2021年2月から3月にかけて、計5つのウィンタープログラムをオンラインで実施した（下表参照）。

| プログラム名 | 実施期間 |
|---|----------------------------------|
| オーストラリア国立大学-東京大学 合同ウィンタープログラム | 2021年2月15, 16, 18, 19日 |
| ソウル大学校-東京大学 合同ウィンタープログラム | 2021年2月16, 17, 18, 19日 |
| ハワイ大学マノア校 ウィンタープログラム | 2021年2月16日～20日 2021年2月23日～27日 |
| デザイン思考で考える AI とジェンダー オンラインワークショップ（Beyond AI 連携機構） | 2021年3月3, 5日 |
| ベルリン自由大学 ウィンタープログラム | 2021年3月16, 18日 |

5つのプログラムのうち4つは、オーストラリア国立大学、ソウル大学校、ハワイ大学マノア校、ベルリン自由大学と共催した（下図参照）。これらのプログラムでは、海



外大学と東京大学の教授陣がそれぞれのプログラムテーマに関連した講義を提供した。参加した本学の学生は、相手校の学生とのディスカッションやグループワークを通じて、日本にいながらにして異文化交流の機会を得た。

Beyond AI 連携機構が実施したプログラムは、本学 生産技術研究所や情報学環の教授陣が主体となって実施された。参加した本学の学生は AI とジェンダーという世界規模で関心と問題意識の高まるテーマについて、オンライン上のホワイトボードでアイデアを共有していくことで主体的に学習した。

オンライン環境という制約はあったものの、実施した5つのプログラムは一定の教育効果をもたらした。すべてのプログラムは英語で実施されたため、国際経験の限られた学生に対して「英語で学ぶ」機会を提供できたことは大きい。英語で異文化圏の学生や教員とコミュニケーションをとった経験を通じて、今後の留学に対する意欲を向上させ、国際総合力をさらに発展させていくための動機づけをすることができた。それぞれのプログラムのテーマ、参加学生の属性、プログラム参加後のアンケート結果などは、後述の各プログラムのページにて報告する。

報告書作成者

下山田 翔

国際総合力認定制度 担当教員

東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部

附属国際交流センター グローバリゼーションオフィス

特任助教

オーストラリア国立大学-東京大学合同ウィンタープログラム

プログラム概要

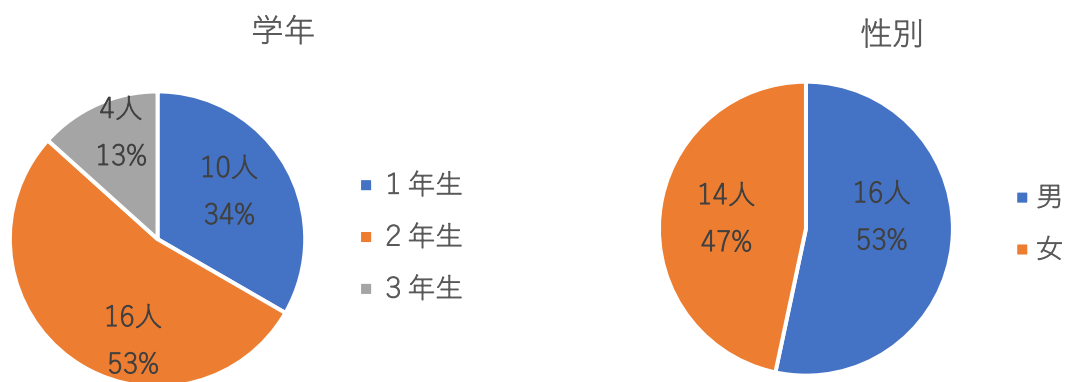
国際経験が少ない Go Global Gateway 登録者をターゲットとし、語学学習に留まらない国際交流と相互理解のための「留学体験」を提供した。「ジオハザードに関する科学と社会」をテーマとし、自然災害やそれに関連した経済学、AI、哲学などの基本的な講義を、両大学の教授陣が提供した。また、講義に加えてディスカッションやワークショップ、バーチャルフィールドワークなどを組み込むことで、参加学生が主体的に学べる機会を提供した。さらに、英語での学習をサポートするために、講義の内容について日本語で質疑応答できるセッションを設けた。

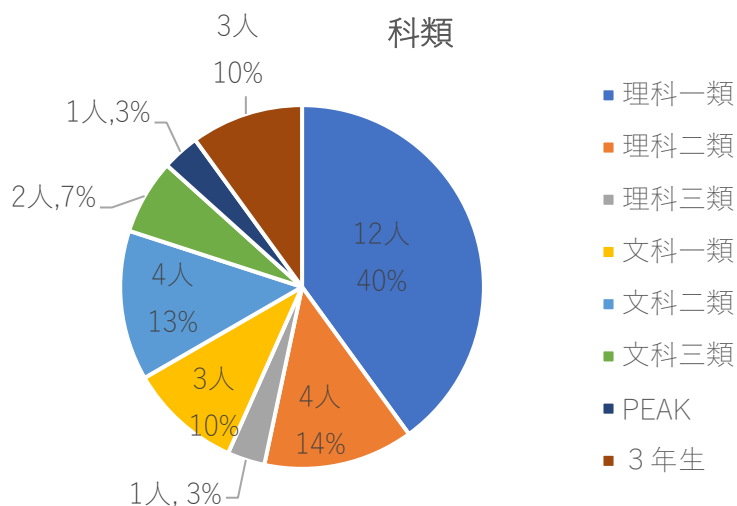
実施時期

2021年2月15, 16, 18, 19日

東大生参加人数と属性

30名





日程

| 2月15日 | | |
|-------------|---------------------------------|--|
| 時間 | アクティビティ | 内容 |
| 8:00-8:35 | オープニング | 担当教員の挨拶 来賓の挨拶（東京オーストラリア大使館、キャンベラ日本大使館） |
| 8:35-8:40 | 休憩 | |
| 8:40-9:00 | アイスブレーキング | |
| 9:00-10:30 | 講義（Phil Cummins オーストラリア国立大学 教授） | 「地震津波等の自然災害の研究」 10:00 からは発展講義（英語）と質問セッション（日本語）を別々の会議室にて同時開催 |
| 10:30-10:45 | 休憩 | |
| 10:45-12:15 | 講義（川口大司 東京大学教授） | 「経済学：コロナ禍の経済」 11:45 からは発展講義（英語）と質問セッション（日本語）を別々の会議室にて同時開催 |
| 12:15-13:00 | Zoom ランチ&ラボツアー（横山祐典 東京大学教授） | 大気海洋研究所・加速器研究棟の内部をライブ中継 |

| | | |
|-------------|--|--|
| 13:00-14:00 | 津波防災に関するフィールドワーク (案内者：神谷未生 一般社団法人おらが大槌夢広場 事務局長) | 3.11 で被災した岩手県大槌町の現在の様子をライブ中継 |
| 14:00-14:15 | 休憩 | |
| 14:15-14:35 | 防災に関するグループディスカッション (神谷未生 一般社団法人おらが大槌夢広場 事務局長) | フィールドワークを受け 3.11 をどのように知ったか、当時何をしてきたかを自己紹介しつつディスカッション |
| 14:35-16:15 | ワークショップ (神谷未生 一般社団法人おらが大槌夢広場 事務局長) | 「震災復興の社会学」についてのワークショップ |
| 16:15-16:30 | 休憩 | |
| 16:30-17:00 | リフレクションセッション | グループに分かれて英語で 1 日の内容に関してグループレポートの作成。終了後、担当教員とティーチングアシスタントによる日本語での質疑応答 |

| | | |
|--------------|------------------------------------|---|
| 2月16日 | | |
| 8:30-10:00 | 講義 (David Heslop オーストラリア国立大学 フェロー) | 「地球科学と危機管理」 9:30 からは発展講義 (英語) と質問セッション (日本語) を別々の会議室にて同時開催 |
| 10:00-10:15 | 休憩 | |
| 10:15-11:45 | 講義 (大石裕介 富士通研究所 研究員) | 「富士通で行っている研究 - 計算機を使った防災・減災研究 -」 11:15 からは発展講義 (英語) と質問セッション (日本語) を別々の会議室にて同時開催 |
| 11:45-12:30 | Zoom ランチ | ラボツアー (東京大学 大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター) |

| | | |
|-------------|-------------------------|--|
| 12:30-14:00 | 講義（牧野光琢 東京大学教授） | 「水産学と国際関係」 13:30 からは発展講義（英語）と質問セッション（日本語）を別々の会議室にて同時開催 |
| 14:00-14:15 | 休憩 | |
| 14:15-16:15 | ワークショップ（佐藤亮司 東京都立大学准教授） | 「科学哲学」に関するワークショップ [AI に意識はあるか] |
| 16:15-16:30 | 休憩 | |
| 16:30-17:00 | リフレクションセッション | グループに分かれて英語で1日の内容に関してグループレポートの作成。終了後、担当教員とティーチングアシスタントによる日本語での質疑応答 |

| | | |
|--------------|----------------------------------|---|
| 2月18日 | | |
| 8:30-10:00 | 講義（新里 宙也 東京大学准教授） | 「サンゴ礁研究」 |
| 10:00-10:15 | 休憩 | |
| 10:15-11:45 | 講義（Stephen P. Obrochta 秋田大学教授） | 「本栖湖湖底堆積物を使った環境変動復元研究」について 11:15 からは発展講義（英語）と質問セッション（日本語）を別々の会議室にて同時開催 |
| 12:00-12:45 | Zoom ランチ | ビデオツアー（ANU SHRIMP [Sensitive High Resolution Ion Microprobe]） |
| 12:45-14:15 | 講義（Will J Grant オーストラリア国立大学上級講師） | サイエンスコミュニケーション（How to communicate with Politicians） |

| | | |
|-------------|---------------------------------|---|
| | | 13:30 からは発展講義（英語）と質問セッション（日本語）を別々の会議室にて同時開催 |
| 14:15-14:30 | 休憩 | |
| 14:30-16:00 | 講義（Simon Haberle オーストラリア国立大学教授） | 「自然災害：山火事—歴史と文化景観への影響」 15:30 からは発展講義（英語）と質問セッション（日本語）を別々の会議室にて同時開催 |
| 16:00-16:30 | リフレクションセッション | グループに分かれて英語で1日の内容に関してグループレポートの作成。終了後、担当教員とティーチングアシスタントによる日本語での質疑応答 |

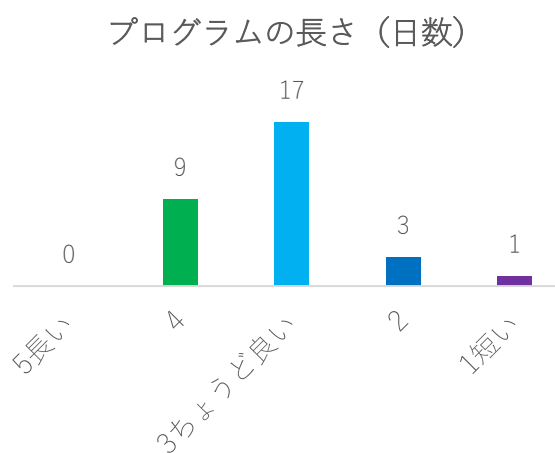
| | | |
|--------------|-----------------------------------|---|
| 2月19日 | | |
| 8:30-10:00 | 講義（橘 省吾 東京大学教授） | 「はやぶさ2プロジェクトの紹介」9:30 からは発展講義（英語）と質問セッション（日本語）を別々の会議室にて同時開催 |
| 10:00-10:30 | 休憩 | |
| 10:30-12:00 | 講義（Trevor Ireland オーストラリア国立大学 教授） | 「はやぶさ2プロジェクトで回収されたサンプルの分析の意義」 11:30 から発展講義（英語）と質問セッション（日本語）を別々の会議室にて同時開催 |
| 12:00-12:45 | Zoom ランチ | ラボツアー（国際沿岸海洋研究センター） |
| 13:00-14:30 | グループワーク | 最終プレゼンテーションの準備 |
| 14:30-15:00 | 休憩 | |

| | | |
|-------------|---------------|--|
| 15:00-16:30 | グループプレゼンテーション | 「4日間を振り返って」 |
| 16:30-16:45 | 休憩 | |
| 16:45-17:00 | クロージング | 担当教員からの挨拶 (横山祐典 東京大学教授) (David Heslop オーストラリア国立大学 准教授) |

事後アンケート結果

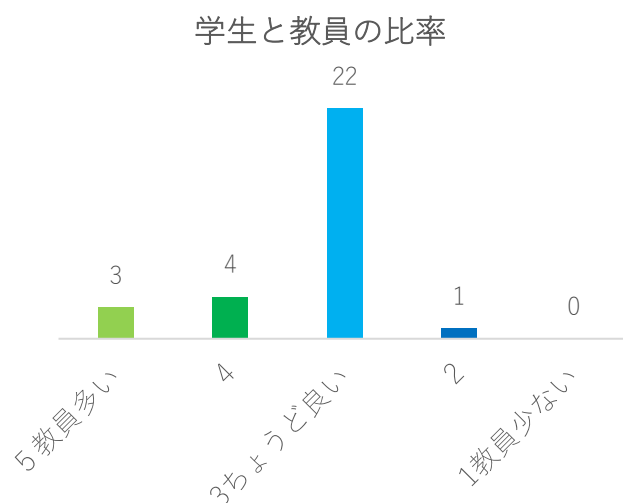
プログラムの長さ

- ・ 評価方法：「長い」を5、「短い」を1で5段階評価
- ・ 平均値：3.13



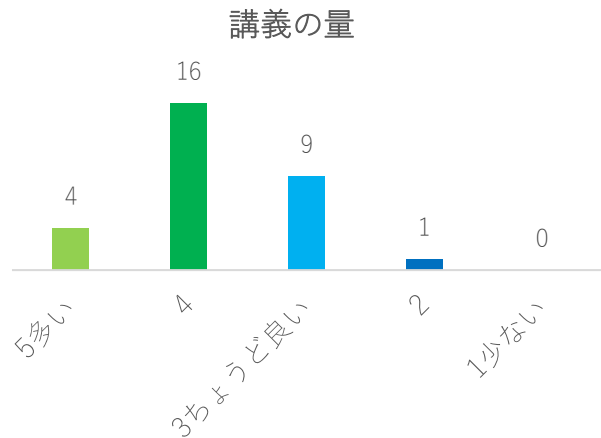
学生と教員の比率

- ・ 評価方法：「学生に対して教員が多い」を5、「学生に対して教員が少ない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.3



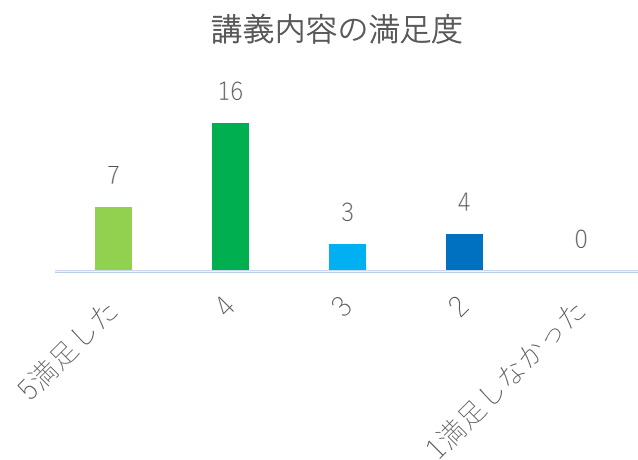
講義の量

- ・ 評価方法：「多い」を5、「少ない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.76



講義内容の満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.86



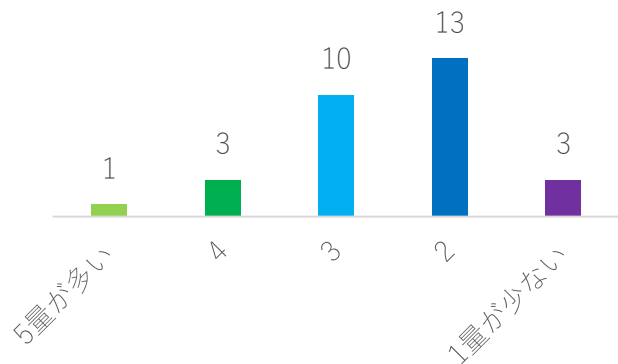
【講義内容に満足したと回答した理由】

- ◆ 地球環境や災害について様々な視点からの講義が組み合わされていて視野が広がるようなプログラムだった。
- ◆ 自分の専門分野とはかなり異なるもので、ついていくのが難しかったですが、その分、新鮮でもあり、非常に興味深かった。
- ◆ さまざまな未知のことに触れられ、自分にはない考えにも触れることができたから…特にいままであまり触れてこなかった震災についてのフィールドワークが自分の糧になったと感じた。

ディスカッション・グループワークの量

- ・ 評価方法：「多い」を5、「少ない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：2.53

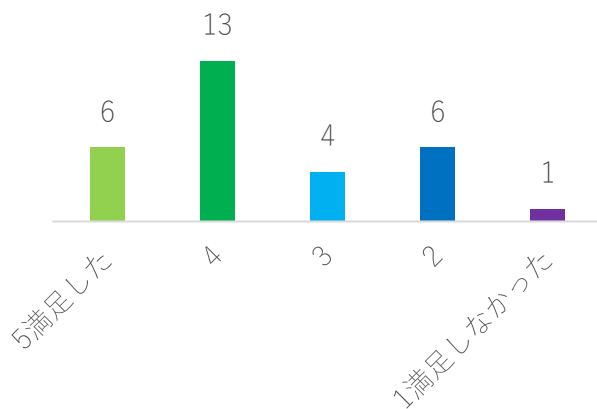
ディスカッション・グループワークの量



ディスカッション・グループワークの満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.56

ディスカッション・グループワークの満足度

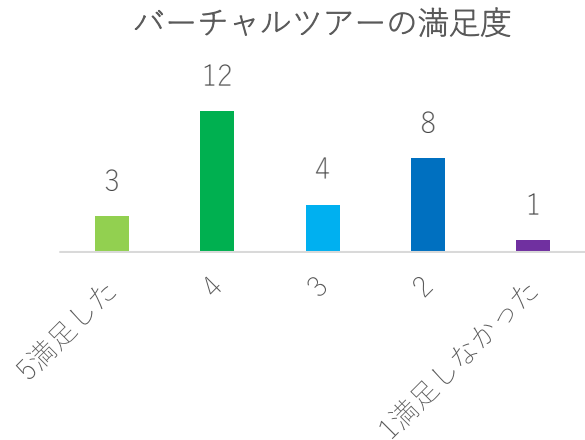


【ディスカッションに満足したと回答した理由】

- ◆ TAの人が全員に話を振ってくれて、取り残されている人がいなかったから。
- ◆ グループワークの時間に、一緒に受けている人とコミュニケーションを取れたのがよかった。内容も頭に入りやすくなったほか、さまざまな意見を聞きつつ議論してグループで一つの結論を導き出すプロセスが新鮮だった。ただ、現地の学生の言っていることが聞き取れないこともあったので、英語がもっとできればさらに良いディスカッションができたと思う。

バーチャルツアーの満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.06

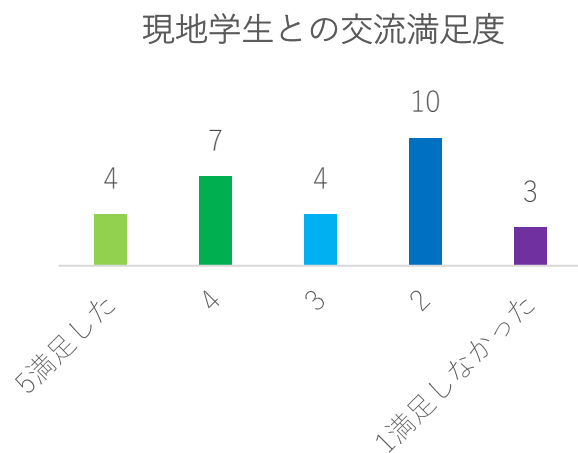


【バーチャルツアーに満足したと回答した理由】

- ◆ よくオペレーションの工夫がされていて、オンラインであっても現地の様子がよくわかった。
- ◆ 前から被災地を訪れて被害の生々しさを感じることにすこし抵抗感があったが、今回バーチャルツアーによって被災地の現状を知れたことはとても有意義だった。
- ◆ 実際にオーストラリアには行くことができなかったが、バーチャルツアーによって少しではあるがANUがどのような場所であるかイメージを持つことができたから。

現地学生との交流満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：2.76



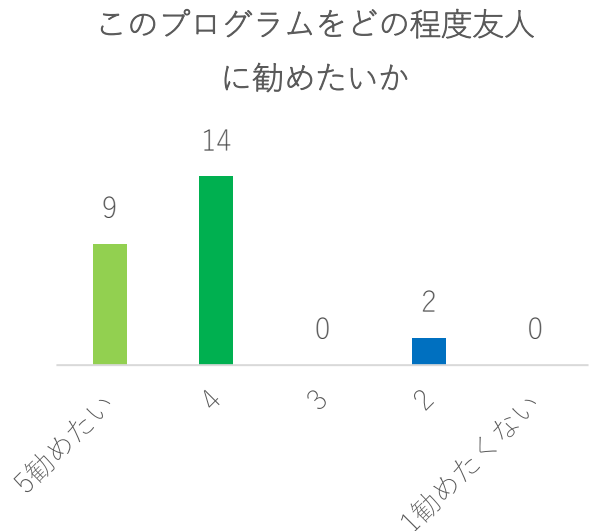
【現地学生との交流に満足したと回答した理由】

- ◆ 自分の経験などを話してくれて、日本にいたら聞けない話も聞くことができたから。
- ◆ こちらが英語を話すときにしっかり聞いてくれ、聞き返しても答えてくれた。

- ◆ 自分の英語力がまだまだ未熟であることを痛感したが,非常に楽しく有意義な時間を過ごせたから。
- ◆ ブレイクアウトルームに分かれて少人数で話すことができた。

このプログラムをどの程度友人に勧めたいか

- ・ 評価方法：「勧めたい」を5、「勧めたくない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.5

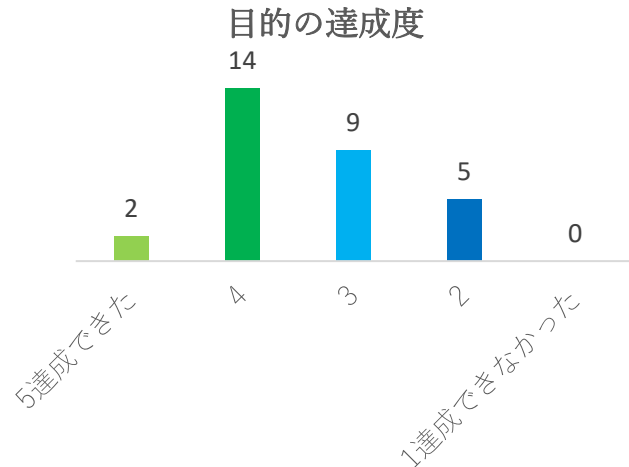


【友人にこのプログラムを勧めたい理由】

- ◆ 期間がちょうどよく、内容も充実していたから。
- ◆ 自分の視野が広がると感じるから。
- ◆ 比較的時間のある長期休暇を有効活用して、貴重な経験を積むことができる。コストパフォーマンスがよい。
- ◆ 英語で講義を受け、多くのディスカッションをするという体験自体がとてもいい経験になると思うから。
- ◆ 海外経験の乏しい自分のような人の第一歩として最高の機会だと思います。

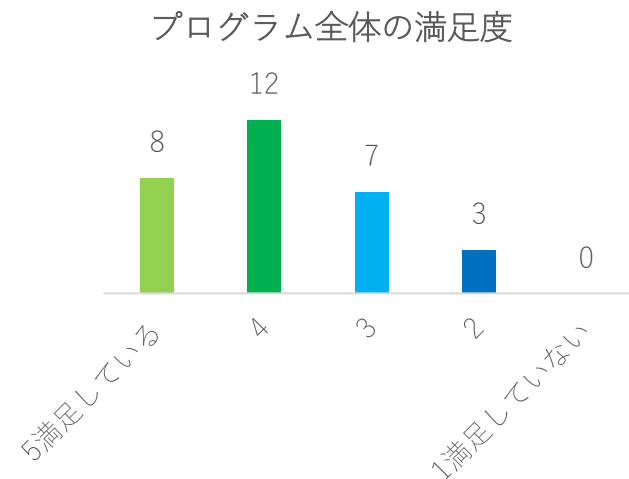
目的の達成度

- ・ 「達成できた」を5、「達成できなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.43



プログラム全体の満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.16



【プログラムの運営について良かった点、悪かった点】

- ◆ 教員のティーチングスタイルは良かったです。TAのサポートも良かったです。学生交流はとても楽しかったです。
- ◆ TAの方が話し合いを促したり意見をまとめ直したりしてくださったおかげでディスカッションしやすく助かりました。

今後短期プログラムに参加する学生へのメッセージやアドバイス

- ◆ 不安があっても、参加してみると意外に大丈夫だし、楽しいので、迷っているなら参加してみるといいと思います。
- ◆ 英語ができない人にとっては自身の英語の能力の欠如に気づくいい機会になります。

- ◆ 迷わず参加しましょう。とてもいい経験でした。
- ◆ 短期プログラムを第一歩に日本の外の世界に興味を持ち将来世界中に視野を広げることに繋がる良いチャンスです。
- ◆ TAの方や講師の皆さんが非常に手厚くサポートしてくださるので、英語を話すことに不安がある方にも受講をお勧めしたいです。短期ではありますが積極的に話していれば、少しずつ話すことに自信がきます。



最終日の集合写真

ソウル大学校-東京大学 合同ウィンタープログラム

プログラム概要

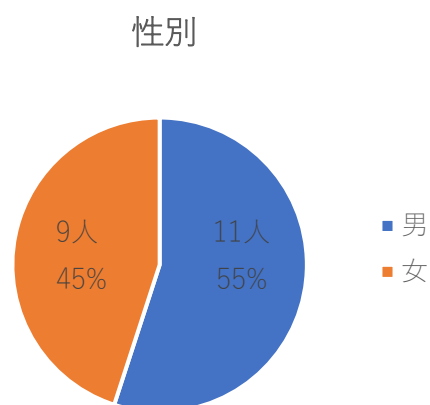
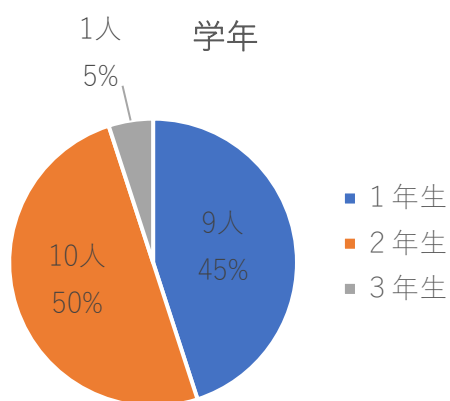
韓国のトップ大学であるソウル大学校とともに、日韓関係や東アジアの未来をテーマに掲げて、合同プログラムを実施した。両大学の教授陣による東アジアの政治、AI、ポップカルチャー等の講義を聞き、両国の未来にわたる建設的な関係について考える機会を提供した。国際経験の少ない学生を、学年、科類を問わず募集し、将来の長期留学や海外でのキャリア形成等に向けた動機づけをおこなった。さらに、日韓の未来を担う学生同士が交流することで、両国の友好関係に資することをねらいとした。

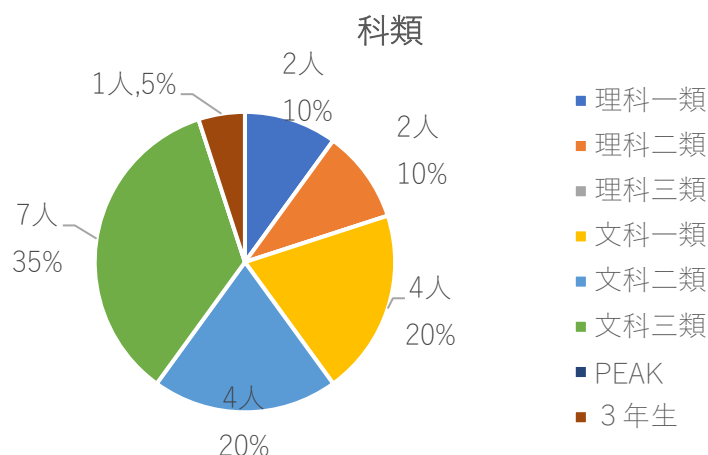
実施時期

2021年2月16-18日

東大生参加人数と属性

20名





日程

| 2月16日 | | |
|-------|----------------------------------|----------------------|
| 時間 | アクティビティ | 内容 |
| 午前 | オープニング | 担当教員の挨拶 |
| | 講義 (Zhang Byoung-Tak ソウル大学 校 教授) | AI とポストコロナ時代のニューノーマル |
| 午後 | 学生交流 (下山田 翔 東京大学 特任助教) | アイスブレイキング |
| | 講義 (Meredith Shaw 東京大学 准教授) | 韓国国内における、日本の内政の影響 |
| | リフレクションセッション (下山田 翔 東京大学 特任助教) | 講義内容についての復習 |

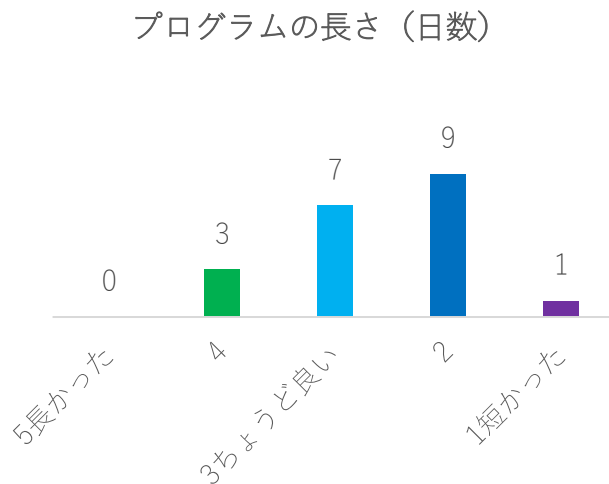
| 2月17日 | | |
|-------|----------------------------------|----------------------|
| 時間 | アクティビティ | 内容 |
| 午前 | 講義 (Hong Seok-Kyeong ソウル大学 校 教授) | BTS の世界的な流行 |
| 午後 | 学生交流 (下山田 翔 東京大学 特任助教) | ディスカッション「日韓文化の相似と違い」 |
| | 講義 (渡邊英徳 東京大学 教授) | 戦争の記憶の継承 |

| | |
|----------------------------------|-------------|
| リフレクションセッション（下山田 翔 東京大学 特任助教） | 講義内容についての復習 |
|----------------------------------|-------------|

事後アンケート結果

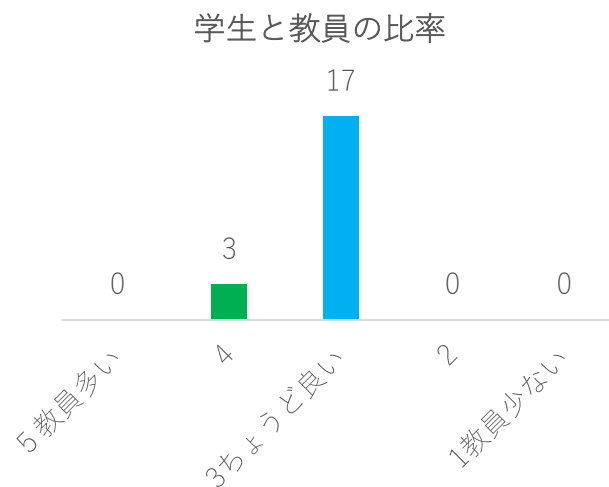
プログラムの長さ

- ・ 評価方法：「長い」を5、「短い」を1で5段階評価
- ・ 平均値：2.6



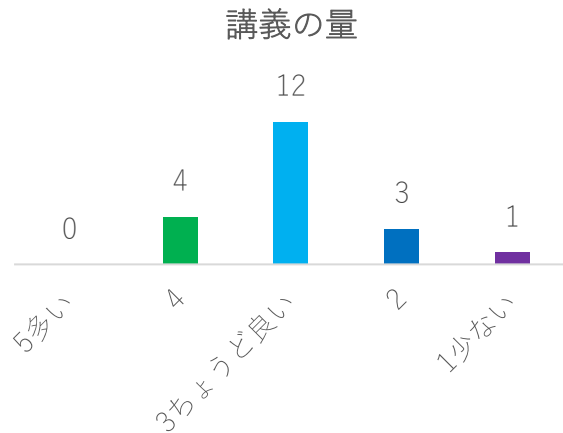
学生と教員の比率

- ・ 評価方法：「学生に対して教員が多い」を5、「学生に対して教員が少ない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.15



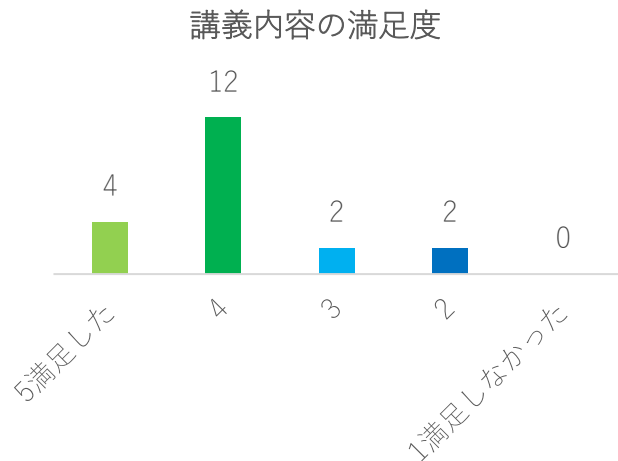
講義の量

- ・ 評価方法：「多い」を5、「少ない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：2.95



講義内容の満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.9

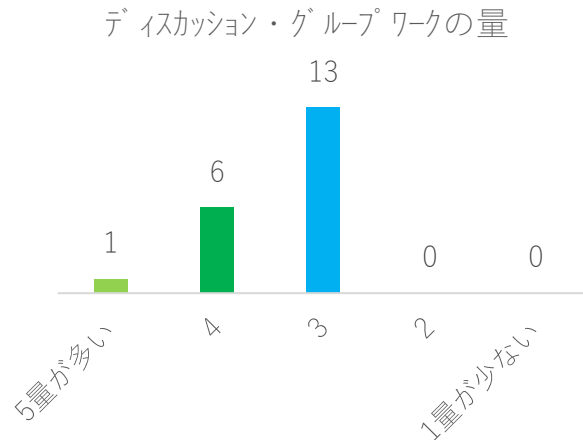


【講義内容に満足したと回答した理由】

- ◆ まず英語で講義を受けるという貴重な経験ができたこと、そしてその内容も今まで受けたことのないようなものが多くて興味深かった。
- ◆ 普段大学で学んでいることとは異なるテーマだったから。
- ◆ 講義の内容が興味深かった。また、英語が聞き取れない講義もあったが、それはそれで海外に留学に行けば直面する授業なのでオンラインで体験できてよかった。
- ◆ 英語のレベルが足りない・背景知識が不足してるなどで、ほとんどの講義が **Challenging** だった。そのため完全に理解することができなかったのが少々悔しいが、背伸びしてついていくという姿勢で受講できたので刺激的だった。
- ◆ 韓国の学生とのディスカッションの時間が全体の割には多く取られていたため満足だった。しかしテーマとして AI と歴史などの内容も興味深かったが、もっと直接的に日韓関係に関するテーマについても講義を受けたかったし話し合いたかった。

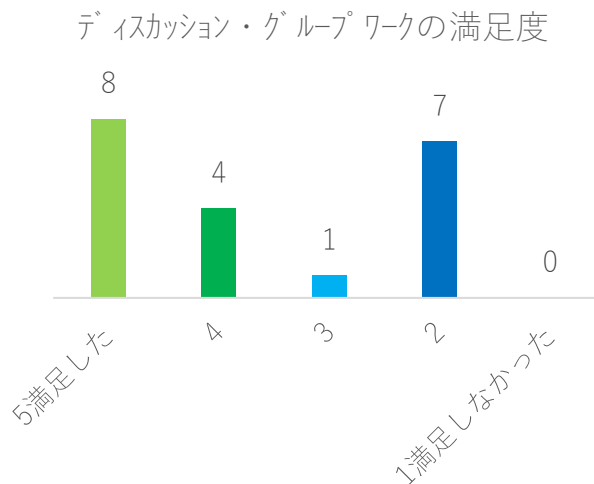
ディスカッション・グループワークの量

- ・ 評価方法：「多い」を5、「少ない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.4



ディスカッション・グループワークの満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.65

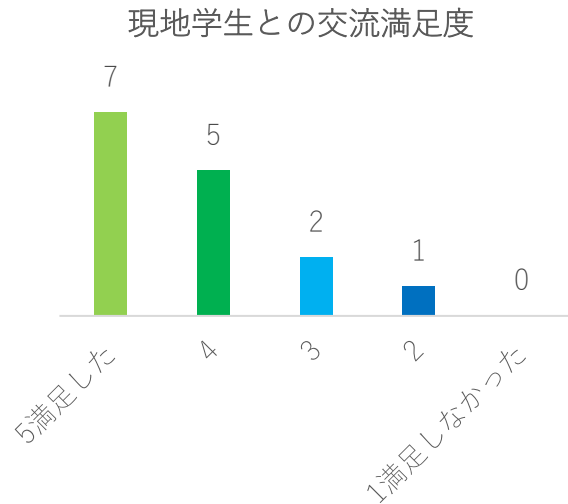


【ディスカッションに満足したと回答した理由】

- ◆ 韓国の実情などが知れて、実りが多かったから。
- ◆ 両国の政治的な話題などに関しては、実際にディスカッションをすると話しづらい部分も多かったのですが、このような触れにくい話題についても相手のことを尊重し合いながら意見交換をすることができ、とても貴重な体験でした。また、お互いの国の文化についてもディスカッションを通してたくさん共有し合うことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

現地学生との交流満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.15

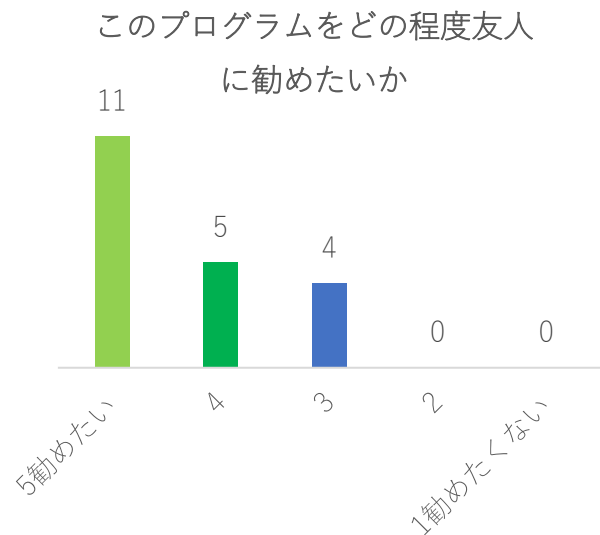


【現地学生との交流に満足したと回答した理由】

- ◆ 個人チャットなどを使って、Ice breaking session で交流があった学生と gmail を交換するなどできて新しい友達を何人も作ることができたので、とても満足している。
- ◆ Facebook でグループを作っていただけのおかげで、プログラム後も積極的に交流しようと言う機運が生まれて良い。
- ◆ 4日間のスケジュールだったのでもちろん深く仲良くなることは難しかったけれどグループでプレゼンの内容を決めるためにたくさん話し合う必要があったのでそこでお互いの国の気になる話や旅行の話ができて楽しかった。
- ◆ プログラム中も夜の空き時間を利用して現地の学生の方々と親睦を深めることができ、さらにプログラム終了後においても zoom を用いて交流が続いており、個人的にお互いの国に関する質問などメッセージを送り合って連絡をとり続けている方もいるので、プログラム終了後も交流を続けることができ、非常に満足しています。

このプログラムをどの程度友人に勧めたいか

- ・ 評価方法：「勧めたい」を5、「勧めたくない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：4.35

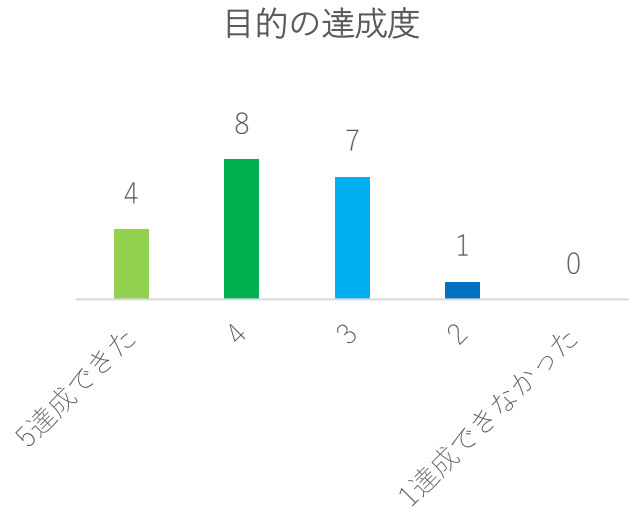


【友人にこのプログラムを勧めたい理由】

- ◆ 今まで考えたこともなかったような韓日の諸問題について考えるいいきっかけになるから。また、意識の高い学生に刺激される。さらに英語や韓国語の勉強を頑張ろうと思えるから。
- ◆ 韓国に対する見方が変わったから。今まで「様々な対立を抱える厄介な国」というように漠然と感じていたのが、「友達になれる隣国」というように大きく印象が変わった。この変化は、私個人の経験としてとても尊いものであるし、なおかつ日韓両国の対極的な関係の改善にも繋がる変化だと思う。他の人にも体験してもらって、日韓関係の発展を進めたい。
- ◆ コロナ禍という特殊な状況であるためだが、無料でこんな貴重な体験ができて参加しないのはもったいないと思う。私はまだ海外に出たことがないため、オンラインという気楽な環境で海外の授業を体験できたり現地学生と交流できたりしたのはすごくありがたかった。
- ◆ 大学のサポート下で国際交流ができるまたとない機会だと思う。留学を考えているけど勇気が出ないという人がいたら、短期プログラムを乗り越えることで自信に繋がると思う。

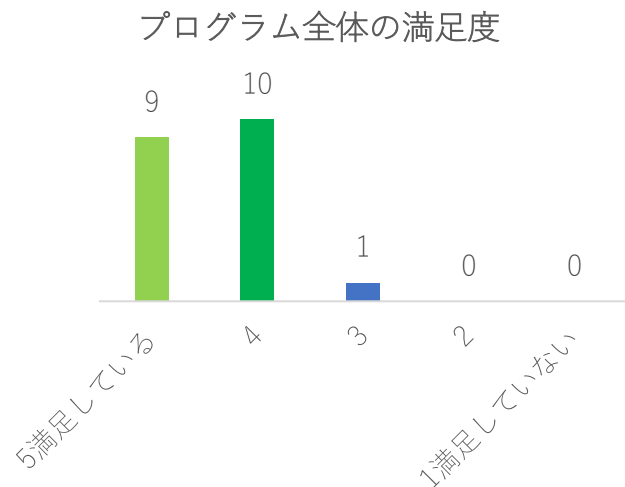
目的の達成度

- ・ 「達成できた」を5、「達成できなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.75



プログラム全体の満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：4.4



【プログラムの運営について良かった点、悪かった点】

- ◆ もっと韓国の学生と交流できる機会があったらよかったと思った。プレゼンのグループ以外とは、広く浅い関係になったのももう少し **interchange session** が長くて良かったと思った。グループのディスカッションが楽しかった。
- ◆ スケジュールがよくわからず少し混乱しました。しかし、教員の方々がしっかり準備してくださっていたおかげで有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- ◆ 1日目のように日本語で講義を振り返る時間がもっと増えるとよいと思いました。
- ◆ いろいろな事情でブレイクアウトセッションの時間が減ってしまったことは残念だったのですが、Facebook で今回のプログラムに参加する学生の交流ページを作っ

ていただくなど、プログラム終了後も連絡を取りやすい環境を作っていただいたことに感謝しています。

今後短期プログラムに参加する学生へのメッセージやアドバイス

- ◆ 自信を持って話し出すことが大事だと思います。
- ◆ きちんとした準備をすることで得られるものは格段に変わってくるので、準備に時間をかけましょう。また、プログラム中は失敗を恐れずに英語を話そうと意識したほうが良いと思います！
- ◆ たかが短期プログラムだと思ってみくびるべきではないです。たった4日なのに、信じられないほど多くのことを得られました。語学学習や長期留学・海外進学へのモチベーションが、湧いてきました。
- ◆ 海外大学での学びに興味がある人にとってもおすすめです。オンラインでは意味がないと思う方もいるかもしれませんが、これまでのような大学生活が送れずにやる気がでない人こそ、参加することに価値があるかもしれません。私は交流大学の学生の賢さに圧倒されて、もっと頑張ろうという気持ちになりました。
- ◆ 短期間ですが絶対に何か学びがあると思います。楽しんで頑張ってください。
- ◆ 迷っているなら参加した方が良いでしょう。コロナ禍においても同世代がそれぞれの場所でいろいろな活動をし、いろいろなことを考えているということを知って刺激を受けられる良い機会です。



東大生と交流するソウル大生

ハワイ大学マノア校ウィンタープログラム

プログラム概要

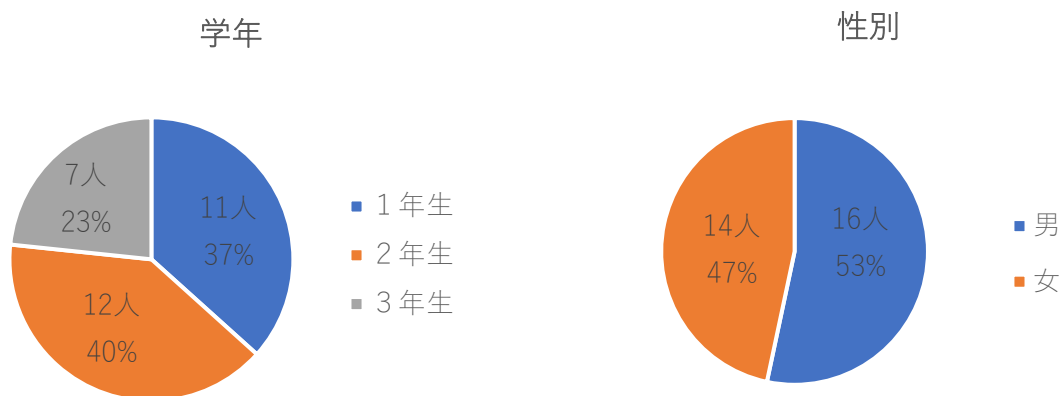
留学等の国際経験が少ない Go Global Gateway 登録者をターゲットとし、語学学習に留まらない国際交流と理解の場を、オンラインで提供した。ハワイ大学マノア校が提供する語学講座に加えて、ハワイ大学生とのディスカッション、ハワイの歴史・言語・移民文化・教育などについての講義をプログラムに組み込み、将来の長期留学や海外でのキャリア形成等に向けた動機づけをねらった。さらに、パールハーバー戦艦ミズーリ記念館等が実施するバーチャルツアーも提供し、日本にいながらにして現地の様子を伝える工夫を凝らした。

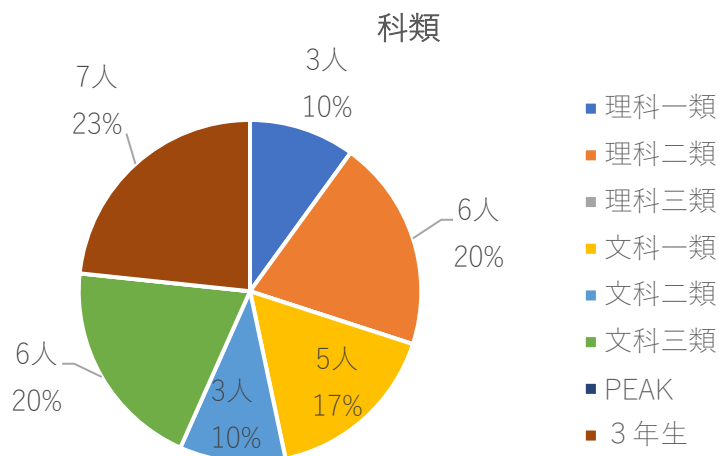
実施時期

2021年2月16日(火)～2月20日(土)、2月23日(火)～2月27日(土) (日本時間)

東大生参加人数と属性

30名





日程

プログラム例（日本時間）

| 2月16日 | | |
|------------|-----------|--------------------|
| 時間 | アクティビティ | 内容 |
| 8:30-9:20 | オリエンテーション | 担当教員の挨拶 |
| 9:30-10:20 | 学生交流 | 東大生とハワイ大生のディスカッション |

| 2月17日 | | |
|-------------|-----------------------------|--------------------|
| 時間 | アクティビティ | 内容 |
| 8:30-9:20 | 語学講座 | 英語学習とハワイの文化についての講義 |
| 9:30-10:20 | 学生交流 | 東大生とハワイ大生のディスカッション |
| 10:30-11:20 | 語学講座（Alicia Rozet ハワイ大学 講師） | ハワイの言語と文化についての講義 |

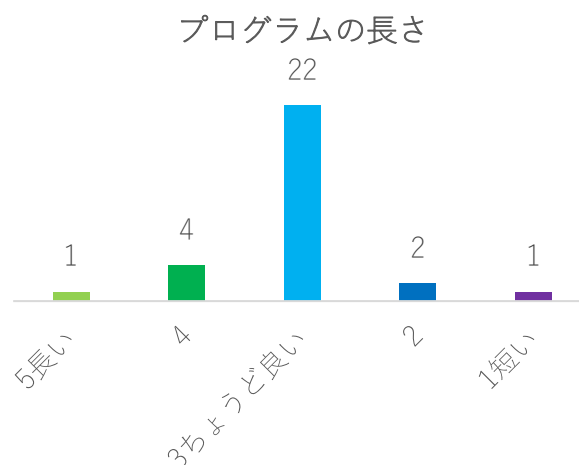
| 2月25日 | | |
|------------|---------|--------------------|
| 時間 | アクティビティ | 内容 |
| 8:30-9:20 | 語学講座 | 英語学習とハワイの文化についての講義 |
| 9:30-10:20 | 学生交流 | 東大生とハワイ大生のディスカッション |

| | | |
|-------------|----------|------------------------------|
| 10:30-11:20 | バーチャルツアー | アメリカ海軍戦艦ミズーリ記念館が提供するバーチャルツアー |
|-------------|----------|------------------------------|

事後アンケート結果

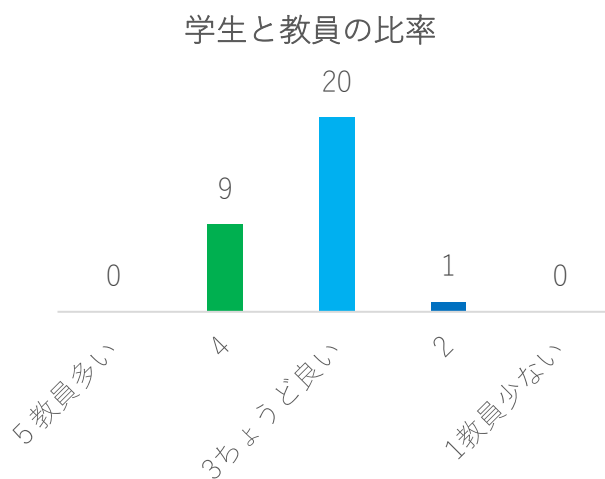
プログラムの長さ

- ・ 評価方法：「長い」を5、「短い」を1で5段階評価
- ・ 平均値：3.06



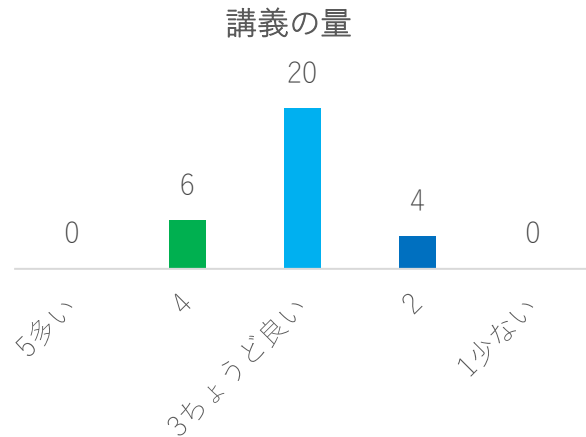
学生と教員の比率

- ・ 評価方法：「学生に対して教員が多い」を5、「学生に対して教員が少ない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.26



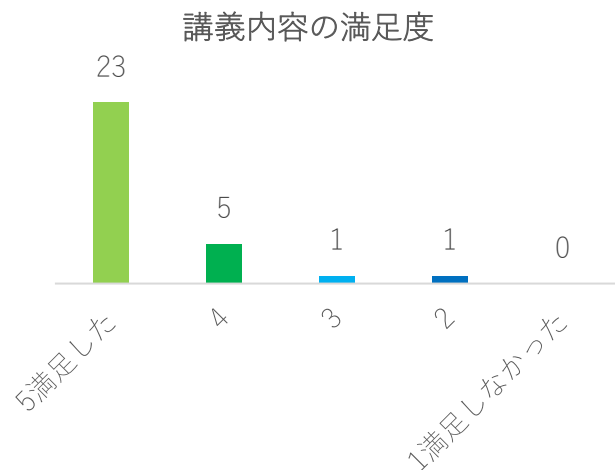
講義の量

- ・ 評価方法：「多い」を5、「少ない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.06



講義内容の満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：4.66

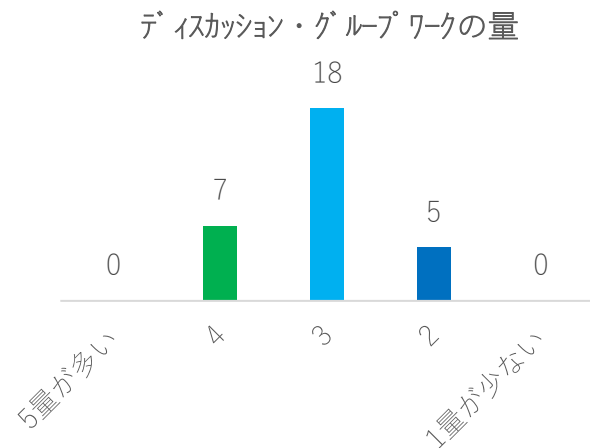


【講義内容に満足したと回答した理由】

- ◆ ブレイクアウトルームを使用して少人数で話す機会が毎日あったので積極的に発言することができました。
- ◆ 様々な分野の話を知ることができてハワイについて今まで知らなかった多くの側面を知ることができたから。
- ◆ 英会話の時間が十分にあり、学期中では積めない経験が積めたと思ったから。
- ◆ ハワイについて観光以外の側面から考えることができるようになり、ハワイに更に興味を抱くようになったため。
- ◆ 今までハワイはただの観光地という認識でしたが、言語や歴史についての深い学びを得られ、ハワイに対する見方を増やすことができました。

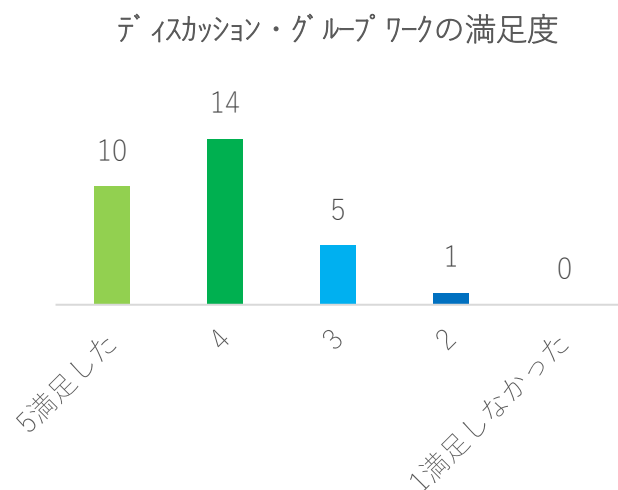
ディスカッション・グループワークの量

- ・ 評価方法：「多い」を5、「少ない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：2.86



ディスカッション・グループワークの満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.83

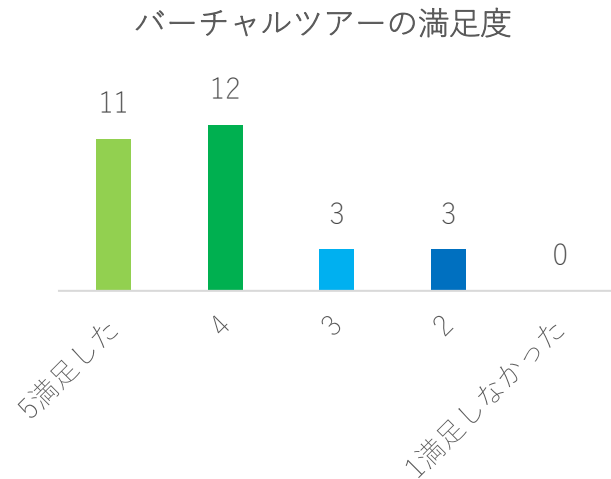


【ディスカッションに満足したと回答した理由】

- ◆ 先生がたくさんのおピックを用意して下さったため、それを参考にして10日間本当にたくさんのお話を英語で話すことができた。とくに意見が分かるような難しいおピックやハワイの深刻な問題について、相手の意見を尊重しながら自分の意見をしっかり表現する手法を学び、実践できたのが楽しかった。
- ◆ ハワイと結びついたり日常生活についてなど、話しやすいテーマで考え尽くされていると感じました。
- ◆ 環境問題、自分の性格など、身近でありながらもなかなか正面から向き合う機会の少ないおピックについて英語で議論し、考えを深めることができた。学年も専攻も異なる学生と話すことは、自分の視野を広げるために非常に有益だった。また、英語での議論において円滑に進行することの難しさを感じ、今後の課題を見つけることができた。

バーチャルツアーの満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.93

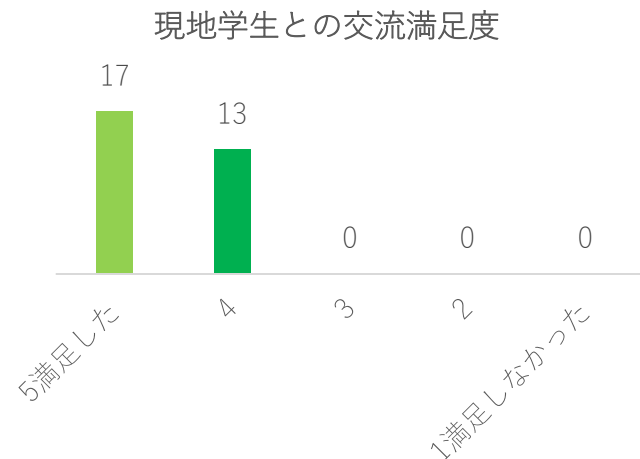


【バーチャルツアーに満足したと回答した理由】

- ◆ バーチャルツアーと聞いて、それぞれの場所の紹介がなされるだけかと思っていましたが、その歴史や細かい特徴などを聞くことができ貴重な経験だったと思います。
- ◆ 写真などを豊富に使ってイメージが湧くように説明してもらったから。
- ◆ 講師の方が詳細に解説してくださったので、非常に興味深かった。
- ◆ ハワイの日系人や空港、さらに戦艦ミズーリなどハワイにまつわる様々な場所や事柄について知ることができた。オンラインで開催されており、現地に行っていない割は、ハワイのいろいろな場所について知ることができたと思う。パンデミックが収束したら、実際にハワイに行ってみたいと思うことができた。
- ◆ オンラインという制約があるにもかかわらずたくさんの情報を提供してくださりとても面白かったため。

現地学生との交流満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：4.56

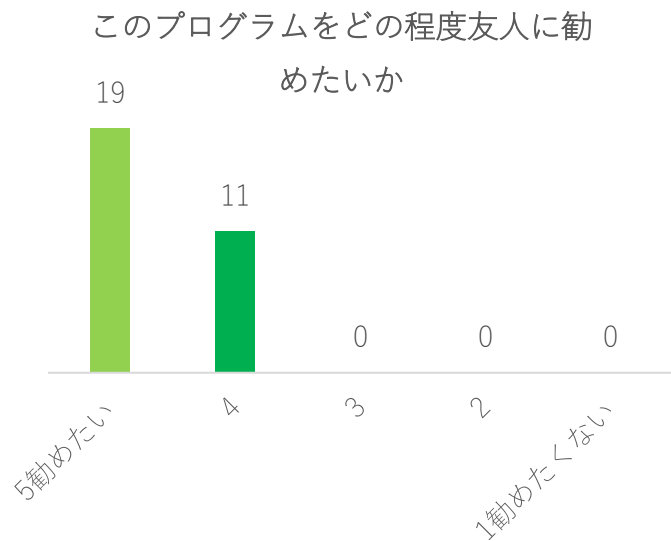


【現地学生との交流に満足していると回答した理由】

- ◆ ハワイ大学の学生はみな優しくこちらの話を最後まで聞いてくれて、自分の英語がネイティブの人に通じると自信を持つことができた。
- ◆ 海外の同世代の学生と英語で喋る経験が減多になかったのが、充実していたと感じました。
- ◆ プライベートのことから政治的な問題まで幅広く話すことができたのが楽しかった。プライベートなことではアメリカの株式投資の話でハワイの学生と非常に盛り上がった。現在のアメリカの株式市場がどうなっているのか、それに対してどのような意見を持っているかなど意見を交換できた。この学生とはインスタグラムのアカウントを交換したのでつながりができたことが嬉しい。また政治的な問題に関しては現在のコロナの状況やハワイの物価の高さ、東京オリンピックに対してどのような意見を持っているかなどの意見を交換した。自分の意見を英語で伝え、コミュニケーションするという当初の目的を達成できたことが良かった。
- ◆ 同じような年齢の学生と話し、生の声を聞くことができたのは非常に良かった。

このプログラムをどの程度友人に勧めたいか

- ・ 評価方法：「勧めたい」を5、「勧めたくない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：4.63



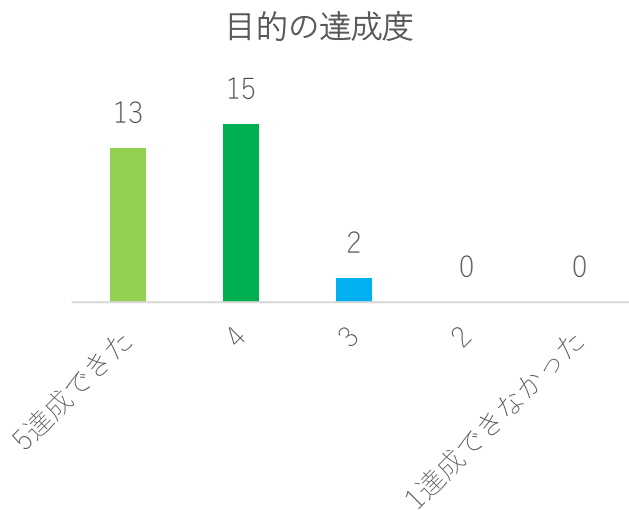
【友人にこのプログラムを勧めたい理由】

- ◆ 短い期間で多くの実りを得ることができる。現地に行けることになったらぜひ参加してみたいと思う。

- ◆ 毎日朝早いという点は少しネックですが、2週間毎日3時間近く授業を受けられるというのは魅力的だと思いますし、毎日の課題が多くはないので大学のきっちりとした授業とは異なって気楽に受けられると思います。
- ◆ このプログラムを通して、英語の実践的な英語力を伸ばすことができただけでなく、ハワイのリアルな現状、雰囲気を味わうことができたから。
- ◆ 英語を使っていろいろな人と話し、違う環境のことを学ぶ楽しさを知って欲しいから。
- ◆ 英語でコミュニケーションをするという経験が得られる上に、異国の文化、歴史を学ぶことによって物事を多角的に見ること、自分たちの文化を相対化できると感じたから。特に戦争の歴史においては人の立場や考え方、自分の祖先に至るまでのことを考える必要があると感じた。
- ◆ 英語を話す機会も多く、ハワイ文化についての授業も充実したものであったから。
- ◆ 特に自分のような、海外経験のない学生にとっては、英語に慣れることができる良い機会であると思うから。
- ◆ 一つの短期プログラムにしては、内容が豊富で、また現地の講義に触れられるのは貴重な体験だと思ったから。

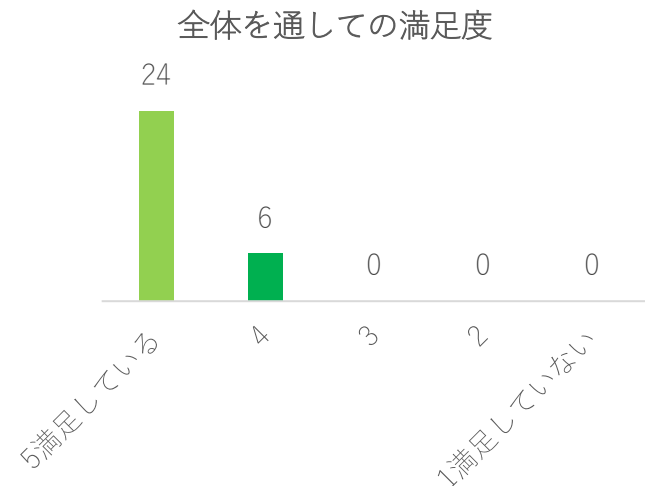
目的の達成度

- ・ 「達成できた」を5、「達成できなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：4.36



プログラム全体の満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：4.8



【プログラムの運営について良かった点、悪かった点】

- ◆ ハワイ大学側の学生がもう少し多かったら英語を話す量ももう少し増えたと思う。東大側の他の学生の話をしている時間が多かったように感じた。
- ◆ このプログラムに関わる全ての人が優しく、手厚くサポートしてくださったおかげで、最高の10日間を過ごすことができました！ありがとうございました！
- ◆ いつも分かりやすく何をすべきか示してもらえたので、とても快適にプログラムに参加することができた。
- ◆ 東大側担当教員のオリエンテーションで事前に問題提起を受けられたのもプログラムに参加するにあたってモチベーションが高まりよかった。

今後短期プログラムに参加する学生へのメッセージやアドバイス

- ◆ 今回はオンラインでの開催でしたが、家にいながらも海外と繋がれるありがたさをぜひ享受して、英語力のみならず、ぜひ知見を広げていただきたいです。
- ◆ 少しでも英語を上達したい・ハワイについて知りたいという思いがあるならばこのプログラムに参加するとたくさんのことを得られると思います。
- ◆ 参加する前は不安がありましたがとても面白く自信ができました。まずは勇気を持って飛び込むことが大切です。

- ◆ 英語を使う機会は自分で見つけるものです。それにはこのプログラムがピッタリだと思います。自分にはレベルが高いかとも思うかもしれませんが、クラスで英語の成績がビリに近い私でさえ楽しむことができたので飛び込んでみるべきです！

Turn On Original Sound | You are viewing Ali Rozet's Slides | View Options | View

Brief history of 'ōlelo Hawai'i

- **1893:** Illegal Overthrow of the Hawaiian Kingdom
- **1896:** Hawaiian language instruction banned in all public schools
- **1986:** (Ninety years later) Ban on Hawaiian language in schools lifted
- Hawaiian Language Newspapers in circulation between 1834 and 1948

Hoku o Hawaii
Alenala a Hoolalaia i ka Lahui Hawaii

Talking: Ali Rozet

Unmute | Stop Video | Security | Participants (35) | Chat | Share Screen | Polling | Record | Live Transcript | Breakout Rooms | Reactions | End

ハワイ大講師による講義

Turn On Original Sound | View | Participants (36)

Poll 3: Closing Poll

Poll closed | 30 voted

1. Do you think studying abroad is a valuable experience?
Yes (30) 100%
No (0) 0%
2. Has this Special English and Culture Program been a good alternative since traveling is not possible?
Yes (30) 100%
No (0) 0%
3. Have your views and ideas of Hawai'i and Hawaiian culture changed as a result of the program?
Yes (30) 100%

Re-launch | Share Results

To: Kiriko Shimaji (Direct Message) | File | ...

Type message here...

Mute | Stop Video | Security | Participants (36) | Chat | Share Screen | Polling | Record | Live Transcript | Reactions | More | End

投票機能を用いたディスカッション

デザイン思考で考える AI とジェンダー オンラインワークショップ

プログラム概要

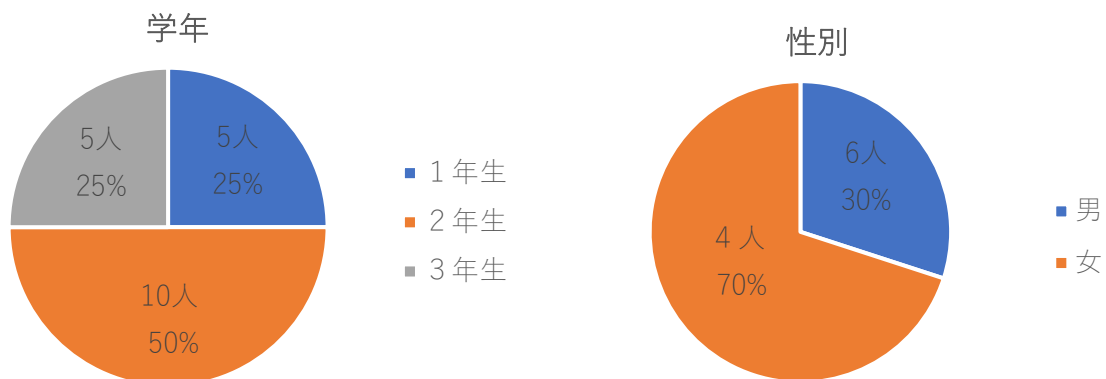
AI キャラクター デザインにおける偏った女性像、情報工学分野や IT 産業における女性の参画者の少なさを背景に、AI とジェンダーの関係について考えるワークショップを、東京大学学部生を対象にオンラインで開催した。AI を取り巻く新しい社会構造の中でより一層浮き彫りになるジェンダー平等達成への難しさという課題に対して、参加学生自身が自分で取り組めることを考え、より良い未来の実現のためにアイデアを出し合う機会を提供した。国際的なデザインコンサルティング会社で勤務経験のある、UX デザイン出身の研究員がファシリテートを行い、グローバルな感覚を磨くために、英語でグループワークを行った。アイデアを視覚的に共有するためのプラットフォーム「Miro」を活用し、オンライン環境下での創発をねらった。

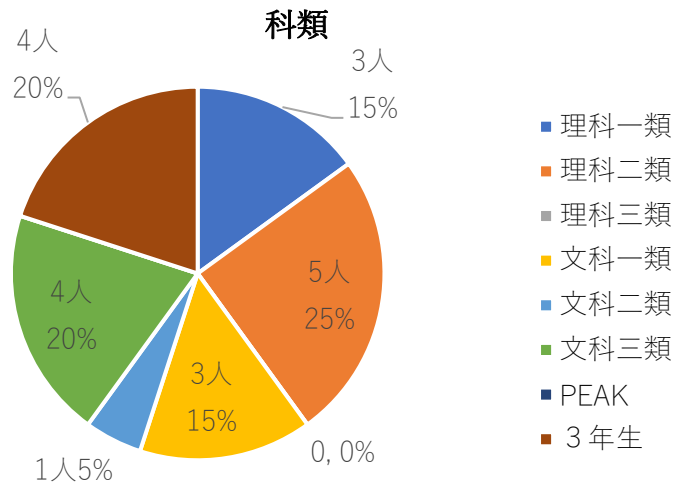
実施時期

2021 年 3 月 3 日、5 日

東大生参加人数と属性

20 名





日程

| 3月3日 | | |
|---------------------|--------------------------------------|--|
| 時間 | アクティビティ | 内容 |
| 13:00 － 13:10 | イントロダクション (Miles Pennington 東京大学 教授) | ワークショップの概要 |
| 13:10 － 14:05 | 講義 (菅野 裕介 東京大学 准教授) | AI と機械学習の概論 |
| | 講義 (林 香里 東京大学 教授) | AI とジェンダーの関係 |
| | 講義 (左右田 智美 東京大学 特任研究員) | エクスペリエンスデザイン |
| 14:05 － 16:40 | グループワーク | オンラインホワイトボード「Miro」を使ってブレインストーミング 提案されたアイデアに投票 |
| 16:40 － 17:00 | プレゼンテーション | 各グループ経過報告 |

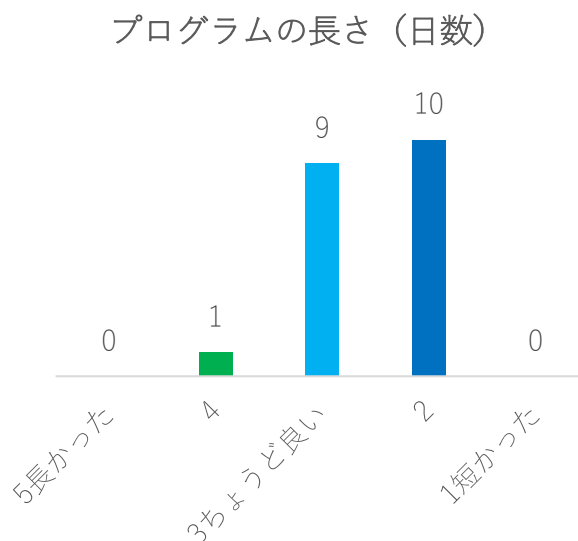
| 3月5日 | | |
|---------------------|--|-----------|
| 13:00 － 13:05 | イントロダクション (Miles Pennington 東京大学 教授 / 左右田 智美 東京大学 特任研究員) | 2日目の流れの説明 |

| | | |
|---------------------|-----------------------|---|
| 13:05 - 13:20 | 講義（菅野 裕介 東京大学 准教授） | インクルーシブな機械学習 |
| 13:20 - 13:35 | 講義（左右田 智美 東京大学 特任研究員） | エクスペリエンスデザインプロセス |
| 13:35 - 15:50 | グループワーク | 「Miro」を使ってアイデアを具体化させていく 提案されたアイデアに投票 |
| 15:50 - 16:20 | プレゼンテーション | 各グループの成果発表 |
| 16:20 - 17:00 | クロージング | 各教員からフィードバック 質疑応答 |

事後アンケート結果

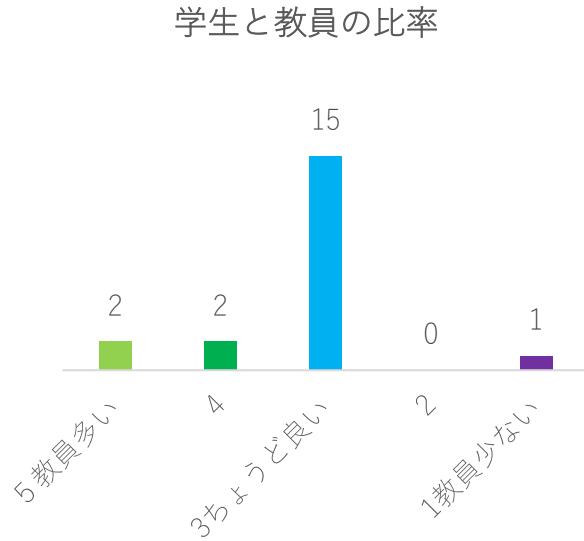
プログラムの長さ

- ・ 評価方法：「長い」を5、「短い」を1で5段階評価
- ・ 平均値：2.55



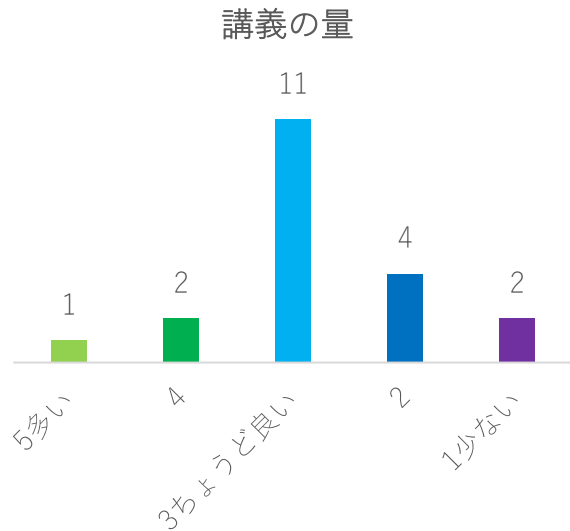
学生と教員の比率

- ・ 評価方法：「学生に対して教員が多い」を5、「学生に対して教員が少ない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.2



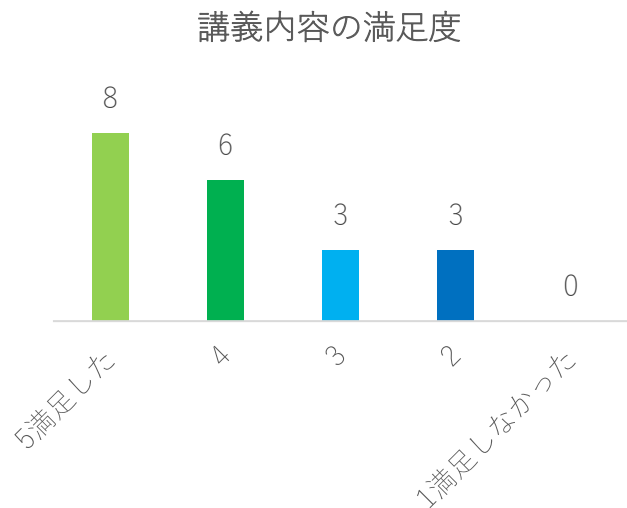
講義の量

- ・ 評価方法：「多い」を5、「少ない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：2.8



講義内容の満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.95

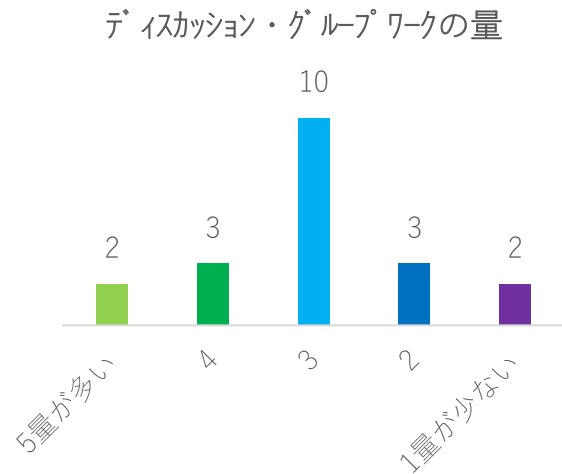


【講義内容に満足したと回答した理由】

- ◆ 先生方の研究がとても興味深く、面白かったからです。
- ◆ AI という観点からジェンダー問題を考えたことがなかったので新鮮だった。
- ◆ 英語でも要点を理解できるわかりやすい講義でした。講義の長さも集中力が途切れないくらいのちょうどよさでした。
- ◆ 機械学習やジェンダーについての講義があったことで、議論がしやすくなったため。
- ◆ AI やジェンダー、デザインについて、現代の流れを端的に知ることができるコンパクトな講義でとてもわかりやすかったからです。
- ◆ AI が、学習の仕方によっては差別的になってしまうことを学ぶことができた。
- ◆ 先生方の具体的な研究や新しい知見触れることができたのがよかったです。ただ正直自分の理解力では繋がりがわからない部分も所々ありました。

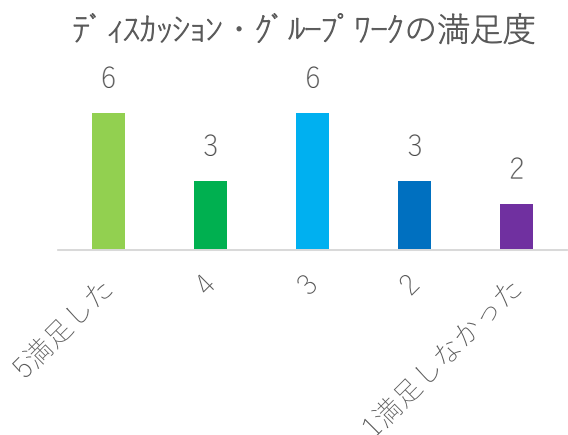
ディスカッション・グループワークの量

- ・ 評価方法：「多い」を5、「少ない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.0



ディスカッション・グループワークの満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.4

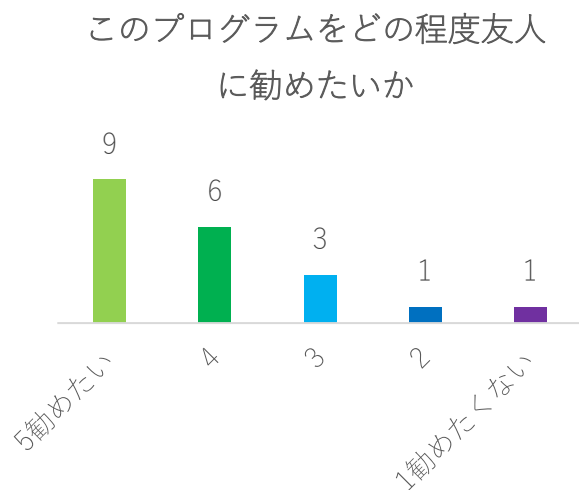


【ディスカッションに満足したと回答した理由】

- ◆ ディスカッション方法が自分にとっては新鮮なものだったから。ファシリテーターの方が分かりやすく説明して下さったこともあり、それほど戸惑うことなく新しい方法を習得できた。
- ◆ さまざまな視点からの意見を聞くこと、英語でのコミュニケーションに慣れることができたからです。
- ◆ AI ジェンダーについて主に講義を行い、それについて議論できた。
- ◆ ファシリテーターの方がディスカッションをリードしてくださり、スムーズに議論できたからです。
- ◆ 最後には班員と活発な討論ができた。
- ◆ Miro を用いたアイデア出しであり、初対面同士でも意見を出しやすかったため。

このプログラムをどの程度友人に勧めたいか

- ・ 評価方法：「勧めたい」を5、「勧めたくない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：4.05

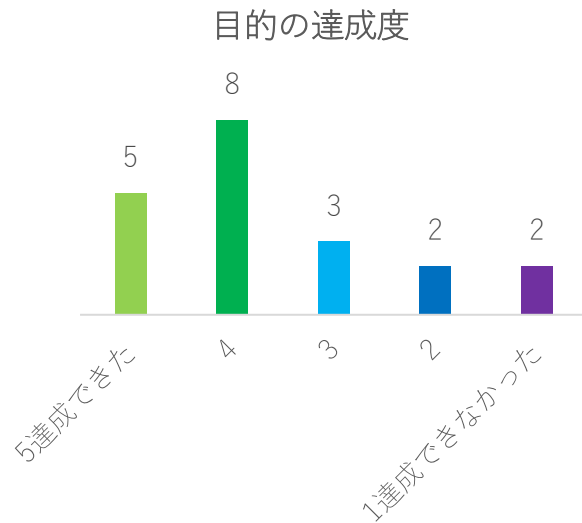


【友人にこのプログラムを勧めたい理由】

- ◆ 今回のプログラムを通してジェンダーの観点から考えた AI の課題という新しい視点を学ぶことができたから。
- ◆ 二日間があっという間で、とても楽しかったからです。
- ◆ 語学的にも内容的にも学びがあるので。
- ◆ 普通の大学の授業では扱われにくい学際的なテーマの授業を受けられるから。
- ◆ オンラインでも価値のある経験ができたのに加え、語学の学習としても役に立ったから。
- ◆ AI とジェンダーという問題に対して、深く考えるきっかけとなったため。

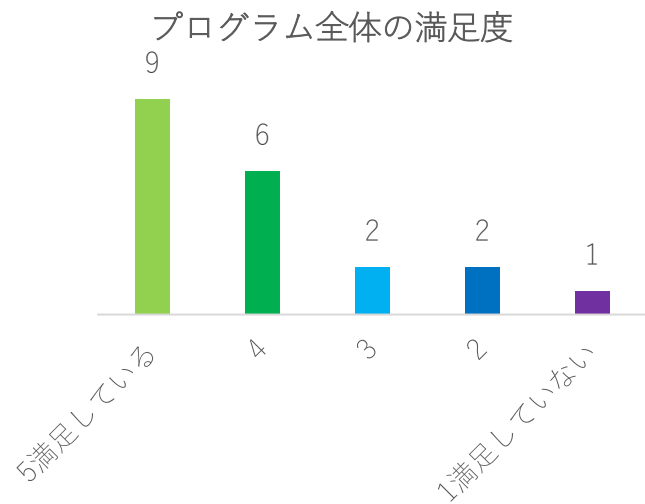
目的の達成度

- ・ 「達成できた」を5、「達成できなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.6



プログラム全体の満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：4.0



【プログラムの運営について良かった点、悪かった点】

- ◆ アイスブレイクがもう少し必要だったかと思います。
- ◆ チーム活動なので事前の打ち合わせをするなどの工夫があったら良かったと思いました。どうしてもジャーナリズムに影響されているので、コンテキストをきちんと理解している先生にお話を聞けると良かったと思います。
- ◆ もっと期間を分散させて欲しかった。
- ◆ 普段の授業でこれほどディスカッションをする機会がなかったので新鮮さを感じた。繰り返しになりますが、パソコンが重くフリーズしてしまって会話についていけないことが多く残念でした。

- ◆ 初めに講義があったことでその後の議論も考えやすかった。ファシリテーターの方がリードしてくださって議論がスムーズに出来た点はとても良かったが、自分たちで議論を進めていけなかったのは自分の反省点だと思うので改善したい。
- ◆ Miro や zoom の画面共有を用いたことで、とてもスムーズに意思疎通ができました。
- ◆ 教員及び TA の方々がたくさんいらっしゃり、不便もなく、充実した時間を過ごせました。
- ◆ TA さんが2日間手厚くサポートしてくださいました。全体での講師説明の後にブレイクアウトセッションでもう一度まとめてくださったり、積極的に例を見せてくださったりしました。また、僕たちの脳が「何も思いつきませぬ…」となって思考停止しかかった時に「どんなことでもいいからコメントを書いて。ほんとにどんなことでもいいから。」という感じにハードルを下げてくださいだったので、なんとかして何かしらは書こうとがんばれました。

今後短期プログラムに参加する学生へのメッセージやアドバイス

- ◆ 短期間でもアイデアをシェアすることで自分の知見を広げることができるのでよいプログラムだと思います。
- ◆ 積極的に発言すると思います。
- ◆ 目的を持って挑み、目的を忘れずに最後までやり遂げること。
- ◆ やらないよりやったほうがましです。
- ◆ 1、2年生の間に参加しておく視野が広がって良さそうだった。
- ◆ 英語で話し合うことのハードルが高いかもしれませんが、いざやってみると、皆積極的で話しやすいため、想像以上に快適です。英語でのプログラムに申し込むという初めの一歩が一番勇気がいるかもしれません。
- ◆ 短期とはいっても、自分にとって大きな変化を生み出せると思います。
- ◆ 変化のきっかけづくりとして、少しでも心に引っかかる何かがあればプログラムに参加してしましましょう！
- ◆ すべてが英語で執り行われるプログラムに参加するのは、大きなハードルかもしれませんが、長期休みの中で非常に刺激を得られるものになっています。 Semester中は忙しくてなかなかできない学びの在り方を経験してみるのはとてもいいと思います！

- ◆ 今回のプログラムに参加して貴重な経験を得られたと思っています。ぜひ応募してみてください。
- ◆ 短期で大きく自分を変えられるチャンスです。ぜひ挑戦してみてください！
- ◆ 自分のスケジュールと相談しつつ、プログラムに臨むのがいいと思いました。



プログラム最終日の集合写真

AI x Gender

Online workshop
with Design Thinking



デザイン思考で考える AI とジェンダー
オンラインワークショップ

対象：国際総合力認定制度に登録した学部学生

3月3日&5日 (水, 金)

13:00-17:00 (両日)

主催

B' AI グローバル・プロジェクト, Beyond AI 研究推進機構
DLX Design Lab, 国際総合力認定制度 (Go Global Gateway)

プログラムの宣伝素材

ベルリン自由大学 ウィンタープログラム

プログラム概要

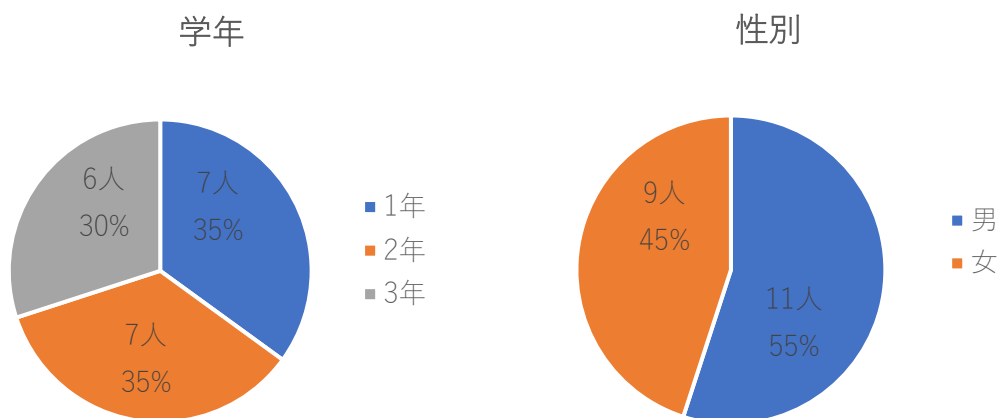
新型コロナウイルスの世界的な流行を背景に、パンデミック（感染症の世界的流行）と文化をテーマにオンラインプログラムを実施した。ベルリン自由大学や本学の教授陣が提供する講義に加え、東大生とヨーロッパの学生がディスカッションを通じて交流する機会を提供した。プログラムは英語で行い、学年、科類を問わず参加を募集した。テーマについての専門知識を有さない学生、そして海外経験の乏しい学生を対象とし、本プログラムを通じて英語での授業やディスカッションに自信をつけてもらい、将来の長期留学や海外でのキャリア形成等に向けた動機づけを目的とした。本学大学院生にTAとして授業に参加してもらい、かつ国際総合力認定制度の担当教員が日本語でのリフレクションセッションを担当することで、英語力に自信のない学生の学習をサポートした。

実施時期

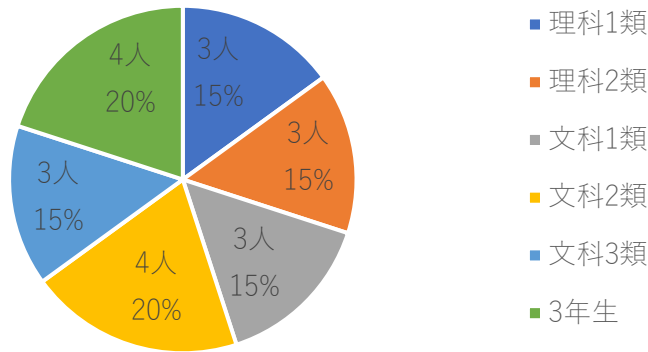
2021年3月16日、18日

東大生参加人数と属性

20名



科類



日程

| 3月16日 | | |
|-------------|--|------------------------|
| 時間 | アクティビティ | 内容 |
| 17:00-17:20 | イントロダクション | |
| 17:20-18:15 | 講義 (Marcos Andrade Neves ベルリン自由大学 研究員) | 人類学とエピデミック：入門編 |
| 18:15-18:30 | 休憩 | |
| 18:30-19:00 | 講義 (Marcos Andrade Neves ベルリン自由大学 研究員) | コロナウイルスの世界的拡大とドイツの対策 |
| 19:00-19:30 | ディスカッション (Marcos Andrade Neves ベルリン自由大学 研究員) | 日常生活におけるコロナウイルスとの付き合い方 |
| 19:30-20:00 | ディスカッション (Marcos Andrade Neves ベルリン自由大学 研究員) | 講義内容全般についての質疑応答など |
| 20:00-20:30 | リフレクションセッション | 東大側担当教員による講義内容の復習 |

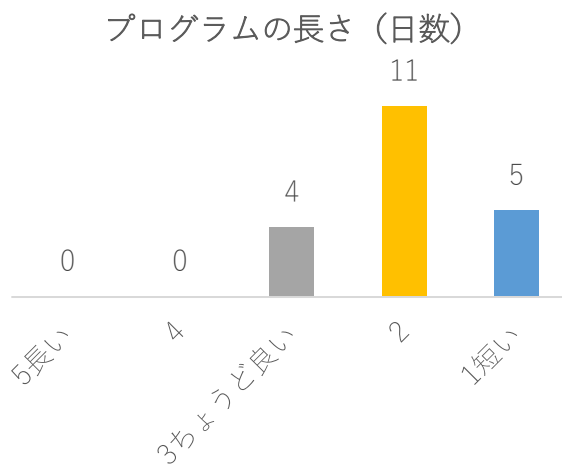
3月18日

| | | |
|-------------|--|--|
| 17:00-17:20 | イントロダクション | 授業テーマの説明と自己紹介 |
| 17:20-17:50 | 講義 (Kerstin Cuhls Fraunhofer 研究所 教授) | 予測とは何か：方法と事例紹介 |
| 17:50-18:00 | ディスカッション (Kerstin Cuhls Fraunhofer 研究所 教授) | 講義内容に関する質疑応答など |
| 18:00-18:15 | 休憩 | |
| 18:15-19:30 | グループワーク | ブレイクアウトルームに分かれ、グループごとにディスカッションの内容をバーチャルボード上に記載 |
| 19:30-20:00 | 講義 (Kerstin Cuhls Fraunhofer 研究所 教授) | 授業のまとめと質疑応答 |
| 20:00-20:30 | リフレクションセッション | 東大側担当教員による講義内容の復習 |

事後アンケート結果

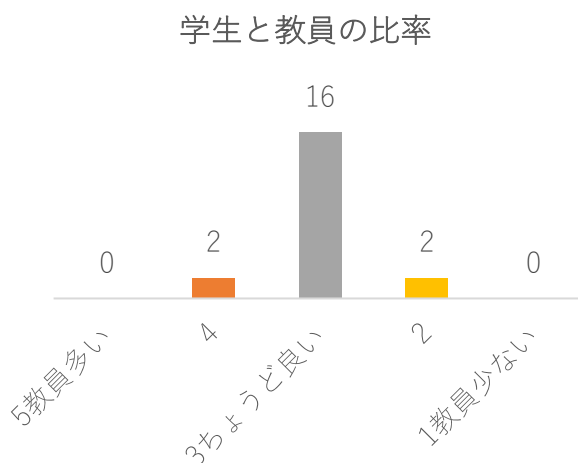
プログラムの長さ

- ・ 評価方法：「長い」を5、「短い」を1で5段階評価
- ・ 平均値：1.95



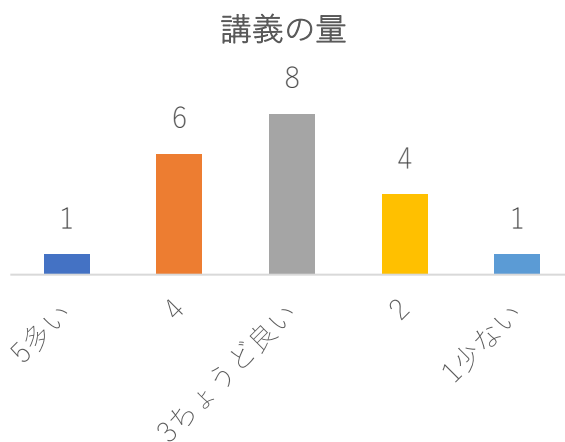
学生と教員の比率

- ・ 評価方法：「学生に対して教員が多い」を5、「学生に対して教員が少ない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.0



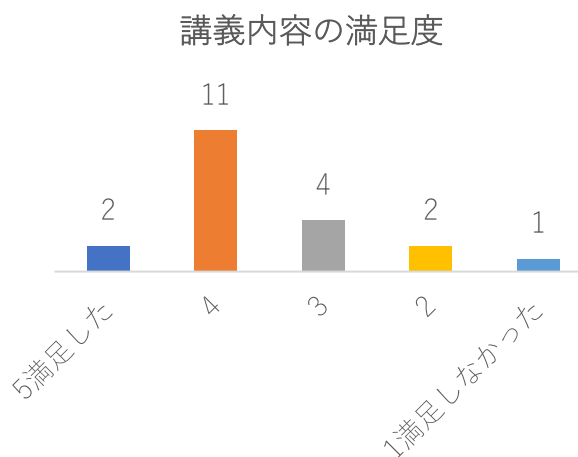
講義の量

- ・ 評価方法：「多い」を5、「少ない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.1



講義内容の満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.55



【講義内容に満足した理由】

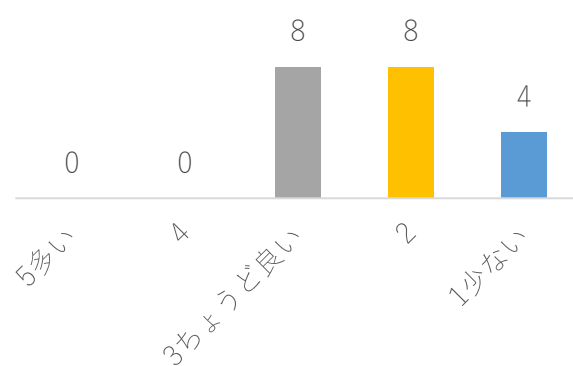
- ◆ パンデミックを人文学的な観点から捉えるという発想が新鮮だったため。

- ◆ パンデミックの状況とそれに対するドイツの政策、また将来を推測する際に気をつけるべきことなどを概略的に解説していただき、大変勉強になったため。
- ◆ コロナの未来の考え方などは聞いたことなかったし身近で面白かった。
- ◆ 新しい知見を得られたため。他にも日本人とのみ接していたら出会えないような価値観にも出会えた。
- ◆ Medical Anthropology というはじめて知る分野からパンデミックをみる講義や、未来の予測とは何なのか、どう予測するのかと言った自分の考え方にも適用できる話を伺えて、楽しかった。
- ◆ コロナという話題が時機を得ていて興味深かったです。ドイツと日本の考え方の違いが分かり、普段の政治の勉強にも役に立つと思いました。

ディスカッション・グループワークの量

- ・ 評価方法：「多い」を5、「少ない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：2.2

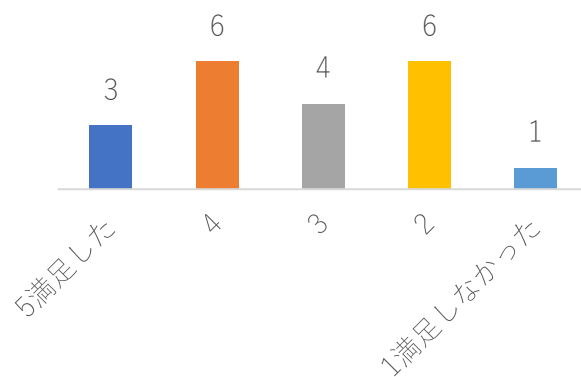
ディスカッション・グループワークの量



ディスカッション・グループワークの満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.2

ディスカッション・グループワークの満足度

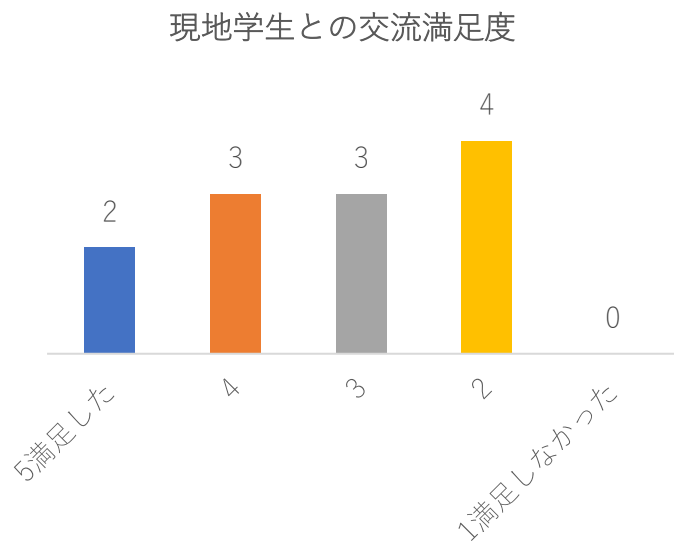


【ディスカッション・グループワークに満足した理由】

- ◆ 外国の学生と話し合える機会自体がとても貴重だし、それぞれ異なる視点から中身の多い充実した議論ができた。
- ◆ ドイツの学生が自分とは違う観点から意見を述べていたことが非常に良い刺激になり、自分の視野が広がった。また、彼らの英会話力が素晴らしく、自分の未熟さを改めて思い知ったこともモチベーションになりとても良い機会だった。
- ◆ グループの他の人の発言を聞くのはとても有意義だった。特にこれからのことについての展望は興味深かった。
- ◆ 1日目のディスカッションの時間は後半部分がなくなってしまい、少し残念だった。しかし、2日目は40分じっくり話せたため、とても満足した。特にドイツ人学生と「対話」できたと感じたことは大きかった。加えて、自分が言ったことに反応してもらえる嬉しさを感じた。英語でも自分の思っていることが伝えられた気がした。

現地学生との交流満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：1.95



【現地学生との交流に満足した理由】

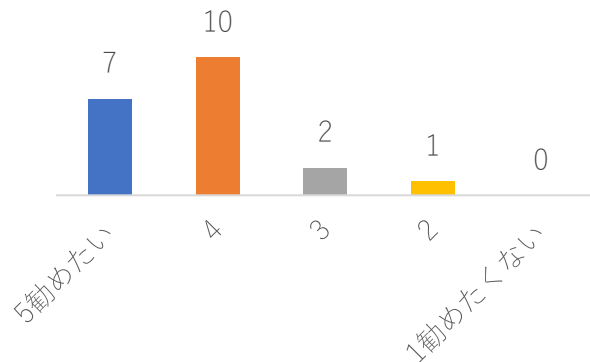
- ◆ 特に二日目は、ディスカッションの時間がたくさん用意され、異なるバックグラウンドの学生と、さまざまな意見を交換することができ、刺激的でわくわくするような知的交流ができた。
- ◆ LINEのグループを作れたため今後も交流が続くと期待でき、とてもよかった。
- ◆ ディスカッションの時間にドイツの学生が考えていることや、コミュニケーション力などに触れることができたので良かったです。

- ◆ 皆さん英語が堪能で安心して話すことができた。事後の交流もうまく動き出しそう
でわくわくしている。

このプログラムをどの程度友人に勧めたいか

- ・ 評価方法：「勧めたい」を5、「勧めたくない」を1として5段階評価
- ・ 平均値：4.15

このプログラムをどの程度友人に勧めたいか



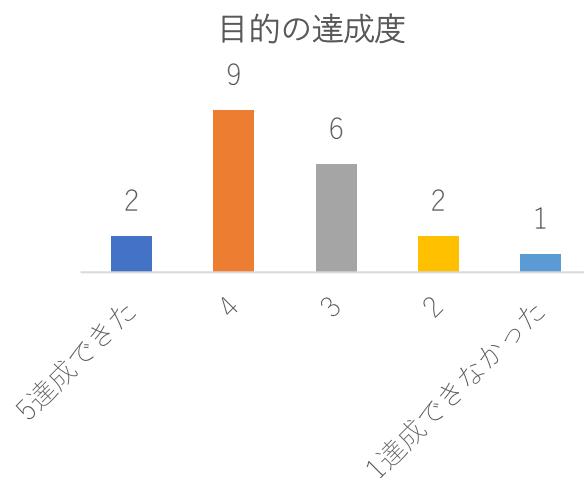
【友人にこのプログラムを勧めたい理由】

- ◆ （今年のようなシステムについては）留学ほどいろいろなものを犠牲にすることなく、海外の大学の講義を受けることができる一方で、将来の留学について考えたり、自分の好奇心を満たしたり、英語力を測ったりと、さまざまな目的に対して有意義なものになると感じるから。
- ◆ 実際に英語を使うプログラムに参加することで、英語を用いた対話をするために自分に何が足りないのかが分かるため。長期プログラムよりも短期プログラムの方が精神的な障壁が低く、長期プログラムに向けた第一歩となり得るため。
- ◆ 海外の学生との交流、英語でのディスカッション、英語での聴講など、どれも自ら働きかけなければ経験することのできない非常に貴重な機会であるため。自分の英語力を試し課題点を発見するためにも、視野を広くするためにも絶好のチャンスであると強く思うから。
- ◆ 多くの皆様がお膳立てしてくださる快適な環境で国際交流ができるため、その入門編として良い経験ができる絶好の機会となると思います。
- ◆ 海外経験のない人が気軽に参加するにはちょうど良いと思ったから。
- ◆ 英語に自信がなくても、自分がどれくらいできないのか、あるいはどのくらいならできるのか、を知ることができる良い機会だと思うから。

- ◆ オンラインで気軽に交流できるのは大きい。
- ◆ 自分の関心分野と合っていれば、自宅で気軽に良質のプログラムに参加できる絶好の機会だと思います。
- ◆ しっかりと準備されているプログラムであるので、純粹に受けると知的好奇心が刺激される。またコロナ禍において外国人と英語でディスカッションできるのはかなり大きいと思うため。
- ◆ 短期プログラム(しかもオンライン)は、とても敷居が低い。はじめの一步には最適だと思う。ここで課題だと感じた点や、頑張りたいと思う点を発見できたことは大きな収穫だった。また、短期なので、物足りなさを感じる。この物足りなさをバネに今後長期的なプログラムにも参加してみたい。
- ◆ 特殊な環境に少しでも身を置くことで、普段は得られない経験を積むことができるから。
- ◆ 自分以外にも学生がいて、みんなコロナの影響で苦しんでいると知ることができました。一人ではないと感じました。

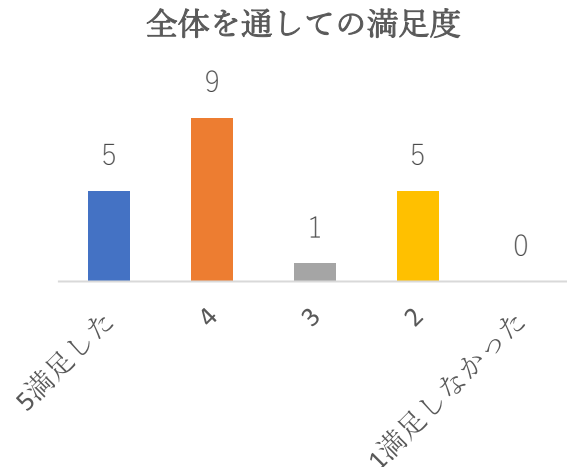
目的の達成度

- ・ 「達成できた」を5、「達成できなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.45



プログラム全体の満足度

- ・ 評価方法：「満足した」を5、「満足しなかった」を1として5段階評価
- ・ 平均値：3.7



【プログラムの運営について良かった点、悪かった点】

- ◆ 日本語でのオリエンテーションや Reflection session が非常に役立った。オリエンテーションにより、事前に相手の国のことを知ることができ、講義をより深く理解することにつながった。Reflection session でその日の講義内容を強制的に振り返ったことによって、自分がこれから身につけるべき英語運用能力がどんなものかをよりの確に分析することにつながった。
- ◆ 講義やディスカッションは非常に内容の濃いものであり、見識が深まったと感じています。特に TA の〇〇さんの、英語を駆使して意見を述べられる姿には大変感動し、大きな憧れを抱きました。授業後には、外国語を上達させるためにはその言語の論理の展開を知ることが大切であると教えていただき、自分にとって今後の外国語学習の指針が明白になりました。本当にありがとうございました。
- ◆ 国際交流イベントを主催するサークルに所属しているためそれとの比較を大きな背景として持つ感想です。自由時間などに好きなだけ交流ができる対面でのイベントと異なり、オンラインのイベントでは交流の機会や時間が均一に制限されるので、国際交流経験の有無によって交流に関する満足度が左右されるのだと思います。
- ◆ 考えてみれば無料でこのようなプログラムに参加できたことは本当にすごいことだと思います。時差や媒体など制約の多い中でプログラムを実現させてくださった担当者の皆様に本当に感謝しています。ありがとうございました。
- ◆ TA のサポートがよかったです
- ◆ TA の方のサポートが完璧でした。
- ◆ TA の方には本当にお世話になりました。初日の講義を十分に理解できず、敗北感とともに落ち込んでいたところ、〇〇さん (TA) に「慣れれば大丈夫」「面白い

と思ったことだけメモを取ればいいよ」と言っていただいたり、講義ノートを共有してくださったり、安心感のあるサポートをいただきました。ありがとうございました。

- ◆ また、2日目のディスカッションの際に、グループ内では積極的に話せたものの、グループの発表者となる勇気が出ずにいました。その時、ドイツ人学生の〇〇さんが、「英語上手いし自信持って!(意識)」「勇気を出して!(日本語)」と背中を押してくれました。無事発表が終わったあと、プライベートチャットで「発表上手だったよ」と送ってくれて、とても嬉しかったです。短い間でしたが、こんなに見ず知らずの拙い自分を応援してくれる人がいると感じたことは大きな自信につながりました。彼女とは連絡先を交換して、今後も連絡を取り合うつもりです。
- ◆ 参加者とは最後に SNS を交換し、現在でも LINE でつながっていることも、今回得られた大事なものの一つだと思う。
- ◆ 会ごとに reflection があったので、設けられた時間内に自分の受け方を振り返りできたのが良かったです。ありがとうございました。高い志を持っている人とキャンパス内でいいので早く直接会ってみたいです。
- ◆ 〇〇さん (TA) のノートの提供がとてもありがたかったです。

今後短期プログラムへの参加を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

- ◆ 実際に現地に行けるようなプログラムについては、行けていないのでなんとも言えません。今年のような形のものであれば、現地に行くよりはるかに気軽に参加できますから、少しでも興味を持ったら挑戦してみると良いと思います。
- ◆ 思い切って短期プログラムに参加することは、より高度な英語力が求められるであろう長期プログラムに参加するための足掛かりとなります。私は、英語力の不足により自分の意図が相手に伝えられないという経験をする中で、英語学習に対するモチベーションが大きく向上しました。英語に自信のない人にこそ、短期プログラムに参加すると良いと思います。
- ◆ 英語力が一番のハードルになると思うので、プログラムへの参加をモチベーションにして、日頃から英語の勉強に勤しむことをおすすめします。外国の学生とディスカッションする経験は、非常に刺激的で楽しいものです。ぜひ参加してみてください。

- ◆ 日本で大学生を送りながら外国語の能力を大きく伸ばすことは簡単なことではありませんが、短期プログラムはそのための大きな一歩になり得ます。少しでも参加を迷う場合は、お金と時間の許す限り、できるだけ参加することを強くおすすめします。私個人としては、プログラムを通して自分の足りない部分が明白になり、それを改善していく道のが見えました。ドイツ人学生は英語力も申し分なく、自分の意見を多角的に述べられる人が多かったため、彼らとの交流は自分のモチベーションを上げてくれる非常に良い機会となりました。
- ◆ 今年はオンラインだったので、オンラインでのことについてしか言えないのですが、参加して良かったです。オンラインだからこそ、現地での短期プログラムに参加する以上に参加ハードルが低いので、留学に躊躇する気持ちがある人には特におすすめだと思います。
- ◆ とりあえず単語でもジェスチャーでもなんでも言って伝えることが大事で、その練習ができるいいチャンスだと思います！
- ◆ 普段の生活とは少し違う体験をすることは、1つの挑戦であると同時に自分の知らなかった自分に気づける機会だと思います。
- ◆ プログラムに参加することで、成長とモチベーションのきっかけをつかむことができるのではないのでしょうか？
- ◆ 英語は使うことでより上手くなると思うので、是非積極的に参加をしてみてください。
- ◆ 興味がある、聞いてみたいと思ったら、思い切って参加してみてください！きっと良い経験になると思います。
- ◆ 全部を理解する等の難しい完璧な目標を立てるのではなく少しずつステップアップしましょう。
- ◆ 自分の英語力に自信を持たずに怖気付くかもしれません。しかし誰も完璧な英語なんて期待していません。自分で自分の首を絞めるのはやめてチャレンジしてみてください。多分楽しいです。
- ◆ 参加すると決めれば周りの障害は自然と消えていきます。自分を信じて！
- ◆ オンライン開催であれば金銭的な負担なく、こうした交流や講義を受けたりできるのは滅多にない機会なのであまり重く考えすぎずに参加してみてください。



最終日の集合写真